

A13. A100

昭和十九年十月

重光外務大臣演説集

(自昭和十八年四月二十一日
至昭和十九年九月二十七日)

外務省

外他
67
外史

調一0282

0064

12759

重光外務大臣演説集

目次

一、外務大臣就任ニ際シテノ放送演説……………	(八四三)	一頁
二、第八帝國議會衆議院豫算總會ニ於ケル演説……………	(八六一)	二
三、日獨伊三國同盟條約三周年記念日獨交換放送演説……………	(八九七)	六
四、「デー・モン」緬甸國答禮特派大使歡迎宴ニ於ケル挨拶……………	(八〇三)	八
五、第八帝國議會衆議院豫算總會ニ於ケル演説……………	(八〇七)	一〇
六、自由印度假政府首班「スバス・チャンドラ・ボース」氏歡迎宴ニ於ケル挨拶……………	(八一三)	一五
七、大阪商工會議所ニ於ケル演説……………	(八一五)	一七
八、日獨伊三國協定二周年記念祝宴ニ於ケル挨拶及交換放送演説……………	(八二二)	二六
九、日泰同盟條約二周年記念祝宴ニ於ケル挨拶……………	(八二三)	三四
一〇、昭和十九年頭ノ辭……………	(九一)	三五
二、年頭ニ際シ在外同胞ニ對スル放送演説……………	(九二)	四〇
三、第八帝國議會本會議ニ於ケル演説……………	(九三)	四二
三、比島特派使節國歡迎宴ニ於ケル挨拶……………	(九四)	四九

一四、緬甸國調查團歡迎宴ニ於ケル挨拶	(一九・五二五)	五三
一五、緬甸國獨立一周年記念祝宴ニ於ケル挨拶	(一九・八)	五五
一六、大東亞地域各國ニ對スル放送演説	(一九・八・二二)	五六
一七、第八五帝國議會衆議院豫算總會ニ於ケル演説	(一九・九・九)	五九
一八、日獨伊三國同盟條約四周年記念祝宴ニ於ケル挨拶及日獨交換 放送演説	(一九・九・二七)	六六

一、外務大臣就任ニ際シテノ放送演説 (一八・四・二一)

今回岡ラズモ外務大臣ヲ拜命シ只管恐懼ノ至ニ存ジテ居リマス。世界戦局ハ漸次押シ詰マリ今ヤ最モ重大ナル局面ニ到達シ、彼我何レモ國家ノ總力ヲ舉ゲ一大決戦ニ臨ミツツアリマシテ、其ノ歸趨ハ管ニ帝國ノ興廢ノ岐ルルトコロナルノミナラズ、東亞ノ存亡モ亦懸ツテ此一戦ニ存スルノデアリマス。前途困難ガ如何ニ大ナリトモ、御稜威ノ下、鐵石ノ決意ヲ以テ之ヲ突破シ帝國ノ將來ヲ切り開カナケレバナリマセヌ。

帝國ノ今日戰フ所以ノモノハ帝國死活ノ問題デアリマシテ、大東亞ノ保衛ト建設トガ其ノ内容デアリマス。此ノ目的ヲ達シテ年來久シク待望セル東亞ノ黎明ヲ迎ヘナケレバナリマセヌ。東洋復興ノ大業ハ即チ帝國ニ課セラレタル歴史的使命ニ他ナラヌノデアリマス。茲ニ於テカ大東亞ノ指導者ヲ以テ任ズル帝國ハ須ク東亞ノ各國ノ人々ト共ニ苦樂ヲ共ニシ其ノ敬慕ト信頼トヲ贏チ得ンガ爲メニ更ニ名實共ニ一層ノ努力ヲ致スベキデアリマス。過般來實施シツツアル所謂對支新政策ノ精神モ亦畢竟スルニ茲ニ在ルノデアリマシテ、東亞各國各民族ノ共存共榮ハ實ニ東亞ノ指導原則タルモノデアリマス。斯クノ如クシテ、帝國ニシテ正義ヲ四海ニ布クノ大抱負ヲ以テ、全東亞ノ結束ヲ得ルニ於テハ、今次戰爭ハ既ニ勝利ヲ以テ終結セルモ同様トナルモノト信ジマス。帝國ハ遙ニ盟邦獨伊ト志ヲ分チ之ト呼應シ、東亞ノ與國ト相携ヘ、戰爭完遂ニ邁進シツツアルノデアリマスルガ、現段階ニ於キマシテハ軍事、外交表裏一體ト相成ツテ、既得ノ赫赫タル戰果ヲ擴充スルト共ニ之ヲ政治的ニ活用シ、以テ帝國ノ大使命ノ達成ヲ期セネバナラヌノデアリマス。



國歩多難ナル際非才果シテ能ク重任ニ堪エ得ベキヤ心モトナキ次第アリマスルガ、粉骨碎心微力ノ最善ヲ盡クシテ御奉公致ス決心デアリマス。簡單乍ラ以上就任ニ際シ所感ノ一端ヲ述ベテ御挨拶ト致シマス。

二、第八二帝國議會衆議院豫算總會ニ於ケル演説（一八・六・一七）

昨日、東條總理大臣ハ其ノ演説ニ於テ、大東亞ヲ米英等ノ多年ノ桎梏カラ永久ニ解放シテ、其ノ本然ノ姿ニ還ラシメントスルノガ、帝國不動ノ大方針デアルト云フコトヲ宣明サレ、更ニ大東亞ヲ建設シ防衛スルノ必要ニ觸レラレテ、今日大東亞地域ニ於ケル十億ノ民衆ハ、大東亞戰爭ノ完遂ナクシテ大東亞民衆ノ福祉ナシトスル確信ガ澎湃トシテ起ツテ來テ居ルノデ、是等ノ民衆ノ要望ニ應ジ、其ノ精神ト協力トニ酬ユル時機ハ今デアル。而シテ其ノ本然ノ姿ニ還ラシムル、其ノ點ニ付テ具體案ヲ續々述ベラレタ譯デアリマス。即チ今申サレル通り各國ニ對シテハ或ハ完全ナル獨立ヲ與ヘ、或ハ廣汎ナル政治參與ヲ與ヘテ其ノ要望ヲ達セシメ、相互ノ間ニ於キマシテハ平等互惠ノ關係ニ於テ善隣ノ協力關係ヲ樹立セントスル趣旨デアリマス。斯ノ如クニシテ東亞ヲ建設シ、又東亞ノ安定平和ヲ攪亂スルモノヨリ之ヲ防禦スルト云フ見地ニ立ツ譯デアリマス。大東亞地域ノ民族、國家ニ多年ノ要望ヲ實現セシメテ、平等互惠ノ立場ニ立ツテ互ヒニ協力スルヤウニ仕向ケルト云フコトハ、既ニ所謂對支新政策ノ上ニ於テ著々ト具現ヲ致シテ參ツテ居ルデアリマス。是ガ新タニ日支ノ關係ニ新生命ヲ開イ

テ、真ニ日支兩國ノ間ニ善隣ノ關係ヲ樹立致シツアル譯デアリマス。帝國ノ政策ト致シマシテハ、此ノ方針ヲ飽クマデ徹底セシメ、大東亞地域全部ニ其ノ精神ヲ及ボシテ、以テ十億民衆ノ結集ヲ圖ルト云フコトガ、即チ大東亞ノ真ノ建設デアルデアリマス。此ノ政策ハ言フマデモナク我が帝國以來ノ精神デアアル、真ノ誠ノ道デアアルデアリマス。左様ナ譯デ今更新シイ問題デハナイ、善隣ト協力ノ精神ハ世界ニ其ノ精神ヲ布イテ、少シモ誤ノナイ問題デアリマス。是ガ帝國肇國以來ノ精神デアアル、甚ダ古イモノデアアル。併シ斯様ニ古クシテ且又非常ニ新シイモノデアリマス。何故ニ左様ニ新シイカト云フコトニ付テ、少シク國際關係カラ述ベテ見タイト考ヘマス。

御承知ノ通り、米英及ビ「オランダ」等ノ政策ハ歴史的ニドウ云フ政策デアツタカ、特ニ東洋ニ對シテハドウ云フ政策ヲ執ツテ居ツタカ之ヲ政治的ニ見マスルト云フト、彼等ノ執ツテ居ル政策ハ常ニ分割シテ治メルト云フ政策ヲ執ツテ居ツタカデアリマス。「イギリス」ノ「インド」ニ於ケル政策ガ如何ニ彼等ヲ分離セシメテ、サウシテ其ノ上ニ居ツテ治メテ居ツタカ、「イギリス」ガ「ヨーロッパ」大陸ニ對シテ如何ニ勢力均衡ノ政策ヲ執ツテ居ツタカ、而シテ又特ニ東洋ニ於テ、如何ニ彼等ノ政策ガ日支ヲ分離シテ、互ヒニ相争フヤウニ仕向ケテ、東洋ニ於テ決シテ一ツノ大キナ國ヲ作ルト云フコトソナイヤウニ仕向ケテ來タカ、斯様ナ彼等ノ政治上ノ方面ニ於ケル政策ハ、其ノ施設ガ如何ニアラウトモ、其ノ根本ニ於テ互ヒニ其ノ土地ヲ常ニ攪亂シテ、其ノ上ニ立ツテ自分ノ政治上ノ野心ヲ満足サセルト云フコトハ、根本ニ於テハ破壊政策デアリマス。斯様ナ破壊政策ヲ排除シテ、其ノ分子ヲ一掃シテ、大東亞ノ建設ニ心カラ持ツテ行カウト云フノガ、帝國ノ大方針デアアル譯デアリマス。又彼等ハ經濟方面ニ於テドウ云フ政策ヲ執ツテ居ツタカ、特ニ植民地政策ニ於テドウ云フ政策ヲ執ツテ居ツタカ、彼等



ハ殖民地ヲ占領シテ、之ヲ閉鎖シテ獨占ラシテ利益ヲ擧取スルト云フコトガ彼等ノ政策デアツタ。凡ソ帝國ノ唱ヘテ居ツタ資源ノ開放、又互恵共助ト云フヤウナ方法トハ、根本的ニ違ツテ居ツタ譯デアリマス。彼等ノ對支政策ガドウ云フモノデアツタカ、彼等ノ對印政策ガドウ云フモノデアツタカ、對「アジア」政策ガドウ云フモノデアツタカト云フコトハ、經濟方面カラ極メテ明瞭ニ分リマス。斯様ナ政治上、經濟上ノ魔ノ手ヲ除カケレバ建設ノ道ハ開ケナイノデアリマス。過去ニ於テ帝國ト致シマシテハ、我が帝國以來ノ大精神ヲ具體化スル爲ニ、幾多試ミタノデアリマスガ、常ニ種々ノ故障ニ遭ヒ、今日マデハツキリト其ノ精神ヲ出スコトガ、困難ナ事情ニアツタト云フノハドウ云フ譯デアアルカ、色々事情ハアリマス。必ズシモ一本調子ニハ言ヘマセヌ。併シ大局カラ見テミルノニ、此ノ米英其ノ他ノ勢力ガ東洋ニ入ツテ來テ、根底ニ於テ破壞的ノ考ヘ、攪亂的ノ作用ヲ起シテ居ルト云フコトハ、是ハ爭ハレナイコトデアリマス。此ノ魔ノ手ガ今回帝國ノ非常ナル努力、否圖争ニ依ツテ漸次除カレタノデアリマス。即チ我が陸海空軍ノ直接ノ力ニ依ツテ、此ノ魔ノ手ガ除カレタノデアリマス。茲ニ建設ノ道ガ開ケテ來タ。此ノ大東亞ノ建設ト云フノハ、帝國以來ノ誠ノ精神ガ發露スル譯デアリマスガ、之ヲ護ルモノハ帝國ノ武力デアリマス。今後モ此ノ魔ノ手ノ續ク限リ他クマデ大東亞ノ防禦ヲヤラナケレバナラス。此ノ防禦ハ大東亞全域ノ民族各國家ガ協同シテ、自發的ニ進ンデ行フト云フコトニナツテ來ツアルノデアリマス。實ニ今申ス通り「アジア」ノ解放ト云フノハ我が國策デアリマシテ、英米其ノ他ノ擧取カラ大東亞ヲ解放スルコトガナケレバ、「アジア」ハ安定シナイノデアリマス。又大東亞建設ト云フコトモ出來ナイノデアリマス。今日「アジア」ハ既ニ英米ノ殖民地タル地位ニハ居ラナイノデアリマス。今申ス通りニ、米英ノ政策ハ常ニ閉鎖デアリ、擧取デアリ、獨占デアツタ

四

ノデアリマス。其ノ政策ノ進ム所ハ遂ニ經濟戰爭トナリマシタ。戰爭ヲ以テ政策ノ具ニ供シナイト云フコトハ彼等ノ主張デアリマス。ソレニモ拘ラズ、彼等ハ公然經濟戰爭ヲ宣言致シマシテ、サウシテ他國ヲ屈服セシメヨウト圖ツタノデアリマス。凍結令ノ如キハ正シク一例デアリマシテ、其ノ凍結ノ「ケツ」ハ血ト云フコトデアラウト言ハレテ居ル位デアリマス。是ガ今回ノ大東亞戰爭ノ遠因デアツタコトハ既ニ御承知ノ通りデアリマシテ、申スマデモナイコトデアリマス。英米ハ斯様ニシテ東洋各國民族ノ友達デナイコトハ無論ノコト、否敵デアアル。又西ノ方ニ於テモ昨今ノ現象ヲ見マスト、各小國ノ保護者トシテ現實ニ立ツテ居ルノハ獨伊ノ樞軸國デアリマシテ、米英ハ大國主義ノ名ノ下ニ、開戰當初ニ於テ防衛ヲ名目トシテ立ツタ小國ノ利益ヲ、既ニ一擲シテ居ルヤウナ状態デアルノハ、洵ニ奇妙ナ對照トナツテ來ツアル譯デアリマス。左様ニシテ國際關係全體ヲ總括シテ見マスト、我が此ノ大東亞ニ對スル大方針ハ、即チ「アジア」ノ解放ヲヤリ、大東亞ノ建設ヲヤル、是ハ正シク攪亂政策、又破壞政策ニ對シテ建設政策デアアルノデアリマシテ、各民族各國家、特ニ大東亞ニ於ケル是等ノ民族ノ將來ニ對シテ、非常ナル意義ヲ持ツモノデアリマス。此ノ正義ニ合シテ居ル政策ハ必ズヤ全世界ニ諒解ヲ得ルコトト思ヒマス。恐ラク敵モ之ヲ諒解シテ此ノ政策ニ屈スルコトニナルダラウト考ヘルノデアリマス。此ノ意味ニ於テ他クマデモ此ノ政策ヲ遂行シテ行キ、此ノ戰ヒヲ勝チ抜カケレバナラヌト思フノデアリマス。而シテ又帝國ガ此ノ戰ヒヲ致シマシテ、大國トシテ生キル將來ノ唯一ノ道ガ此ノ道デアラウト考ヘルノデアリマス。斯様ナ立派ナ正義ノ道ニ立ツヤウニ政策ヲ進メルノデアリマス。斯様ニシテ「アジア」ノ黎明ヲ齎シ、大東亞ノ立派ナ建設ヲ齎シ、而シテ是ハ永久ニ世界ノ平和ノ大キナ基礎ニナルコトデアルト信ジテ疑ハナイ次第デアリマス。

五



三、日獨伊三國同盟條約三周年記念日獨交換放送演説

(一八・九・二七)

本日三國同盟條約締結三週年記念日ニ當リ「ラヂオ」ヲ通ジテ貴大臣ト交換放送ヲ行フコトハ私ノ最モ光榮トスル所デアリマス。

樞軸同盟ノ企圖スル所ハ宇内ニ正義ヲ布カントスルニアリマシテ、正ニ世界ノ大道ヲ歩ムモノデアリマス。其ノ精神ハ如何ナル事變ニ遭ツテモ微動ダモスルモノデハナイデアリマス。英米ガ如何ニ狡智ト奸計トヲ以テ「パドリオ」政權ノ背信行爲ヲ誘惑スルトモ、樞軸同盟ノ存在ハ嚴トシテ動カスベカラザルモノアリ、同盟條約ハ炳トシテ日月ノ如ク樞軸終局ノ勝利ヘノ途ヲ照シテ居ル次第デアリマス。「ヒトラー」總統ノ熱烈ナル友情ハ「ムソリニ」首相ノ奇蹟的ナル救出ニ成功ヲ齎シマシタ。「ム」首相ハ今日同盟締結ノ記念日ヲ以テ新共和「ファシスト」伊太利ノ元首ノ地位ニ就カレルコトナリマシテ、帝國モ盟邦獨逸ト共ニ直ニ同政府ヲ承認致シマシタ。斯クシテ新伊太利ハ再ビ「ムソリニ」首相ノ下ニ英米ニ依リ強制セラレタル所謂無條件降伏ノ破滅ト不名譽カラ救済セラレ光輝アル將來ノ展開ヲ見ルコトハ期シテ俟ツベキモノガアリマス。

我々ハ國家民族トシテ將亦世界組織ノ構成分子トシテ他ノ國及他民族ト相共ニ生存スル當然ノ權利ヲ有スルノデアリマス。此ノ固有ノ生存權自身ガ現實ニ脅威セララルルニ至ツテ我々ハ途ニ劍ヲ執ツテ起ツタノデアリマス。自存自衛ノ爲ノ此ノ戰爭ヲ他迄勝利ニ向ツテ戦ヒ抜ク堅キ決心ヲ致シタ所以ハ全ク茲ニアルノデアリマス。敵ハ我々ノ生存ヲモ否認シ、軍事上、政治上、經濟上凡ユル手段ニ訴ヘテ我々ヲ抹殺セント試ミテ居ルノデアリマス。現ニ敵ハ其ノ戰爭目的ハ彼等ガ恣ニ支配シ得ル世界組織ヲ再現センガタメニ樞軸諸國ヲ根本的ニ破碎スルニアリト公然聲明シテ居ルノデアリマス。

過去三年ノ間樞軸同盟ハ能ク青烈ナル試練ニ耐ヘ、其ノ建設的使命ヲ果シテ參ツタノデアリマス。樞軸國ハ敵ノ反攻ヲ邀ヘ、東ニ於テモ又西ニ於テモ、假借ナク之ヲ隨所ニ擊破シツツアリマシテ大獨逸帝國ハ歐洲ニ於ケル同盟諸國ト共ニ歐洲大要塞ヲ擁護シ、敵ノ擊滅ヲ期シ勇猛果敢ナル攻撃精神ヲ發揮シテ居リマシテ帝國亦豫テ期待セル敵ノ反抗ヲ大東亞ノ各方面ニ於テ邀撃粉碎シツツアル狀況デアリマス。斯クテ同盟條約ノ目的タル世界正義ノ實現ハ我々ノ輝カシキ勝利ニ依ツテ成就サルベキハ何等疑ヒラ客レザル所デアリマス。帝國ノ目的ハ東亞ノ天地ニ正義ノ建設ヲ行ヒ、相協力シテ安定ト繁榮トヲ齎ラサントスルニアアルデアリマス。此事理タルヤ正義ニ即スル天ノ道デアツテ東亞民族當然ノ要求デアリマス。我々ハ今日此崇高ナル目的達成ノ爲ニ國運ヲ賭シツツアル次第デアリマス。

帝國ノ生存ヲ否認セントセル英米等ノ諸國ハ多年亞細亞ヲ侵略シテ之ヲ其ノ植民地若クハ半植民地トシテ苛酷ナル搾取ヲ擅ニシ來ツタノデアツテ、分割シテ支配セントスルハ彼等ノ常套政策デアリマス。我々ノ生存權ノ擁護ハ、東亞ヲ英米ノ侵略ヨリ解放シ、其ノ搾取ヨリ救済スルコトト一致スルノデアリマシテ、我々ハ先ヅ此ノ侵略搾取ノ勢力排除ニ成功セバナラスノデアリマス。英米ハ未ダニ既往ノ夢ヲ棄テズ、亞細亞支配ノ舊態勢ヲ恢復セント欲シテ、帝國ニ對シ挑戰反撃シツツアリマスガ、我陸海軍ノ勇戰奮闘ハ其ノ野望ヲ完全ニ封ジテ居ルノデアリマス。亞細亞ヲ解放シ、大東亞諸國家諸民



八
族ガ平等互恵ノ關係ニ立ツテ相協力シ相提携シ、共存共榮ノ新天地ヲ建設セントスルハ我々共通ノ目的デアリマス。中華民國ハ解放セラレ、建設セラレ、而シテ亞細亞ニ復歸セネバナリマセヌ。泰國ハ自主獨立ノ強國トシテ發展シナケレバナリマセヌ。「ビルマ」モ「フィリッピン」モ完全ニ成立シ印度モ亦獨立ノ榮譽ヲ與ヘラルベキデアリマス。斯クテ亞細亞民族ハ各々其ノ所ヲ得ルコトニナラネバナリマセヌ。實ニ今次ノ戰爭ハ一面世界正義ノ爲メノ戰爭デアルト共ニ、他面又亞細亞復興ノ爲メノ戰爭デアリマシテ、亞細亞ノ各國各民族ハ此一戰ヲ歐洲樞軸諸國ト共ニ勝チ抜キ以テ其ノ脅威セラレタル生存權ヲ確保セネバナラヌデアリマス。
帝國ガ東亞ニ於テ勇戰シツツアル精神ハ正ニ以テ大獨逸帝國及其他ノ歐洲同盟諸國ガ歐洲ニ於テ力戰シツツアル精神デアリマス。歐亞ニ於テ國際正義ヲ建設セントスル樞軸同盟ノ大目的ハ樞軸終局ノ勝利ニ依テ達成セラレベキハ既ニ明々白々デアリマス。終リニ臨ミ獨逸國總統閣下ト貴大臣ノ御健康ヲ祝スルト共ニ獨逸國民ノ繁榮ヲ祈リマス。

四、「デー・モン」緬甸國答禮特派大使歡迎宴ニ於ケル挨拶

(一八・一〇・二二)

閣下並ニ各位

本日茲ニ「ビルマ」國答禮特派大使「デー・モン」閣下及御一行ノ御來臨ヲ得マシテ歡迎ノ御挨拶ヲ申述べル機會ヲ得マシタコトハ大東亞大臣並ニ本大臣ノ衷心ヨリ光榮ト致ス處デアリマス。

「デー・モン」閣下ニハ義ニ「バー・モウ」閣下ト共ニ重要使命ヲ帶ビテ御來朝相成リマシタガ、御歸國ノ上「ビルマ」國獨立ノ爲御盡瘁ニ相成リ、獨立ト共ニ大藏大臣ノ重責ヲ擔任セラレ、新國家ノ建設ニ大ナル足蹟ヲ殘サレタデアリマス。今日榮光輝シキ「ビルマ」國特派大使トシテ再ビ當地ニ御迎ヘ致シマスコトハ寔ニ欣快ニ堪ヘナイ所デアリマス。

「ビルマ」ノ獨立ハ寔ニ歷史上ノ重大事件デアアルノデアリマスガ、其ノ歴史的大事件ガ發生シテカラ既ニ約三ヶ月ヲ經過シマシタ。永ク暴力ト搾取トノ下ニ呻吟シテ居タ歴史アル一東亞民族ガ、解放ト復興トノ爲メニ奮起シタデアリマシテ、「ビルマ」ハ之ニ依ツテ獲得シタル祖國ノ獨立ヲ祝シ、感謝シ而シテ劍ヲ以テ擁護シツツアルノデアリマス。我々ハ「ビルマ」國建設ノ姿ヲ見、其獨立行事ノ盛況ヲ知リマシタ。而シテ「ビルマ」ノ古キ要望ガ直ニ達セラレテ「シヤン」諸州「カレン」諸州及「ワ」地方ノ新「ビルマ」國合併ノ事實ヲ見マシタ。斯クノ如クシテ新「ビルマ」國ガ亞細亞ニ復歸シ、古キ傳統ヲ恢復シテ、自主獨立ノ大道ヲ歩キ、新興國家トシテ東亞ノ建設ニ協力シ、世界平和ニ貢獻セララルニ至ルコトハ、我々ノ大ナル喜ビデアリマス。

吾人ノ從事シツツアル戰爭ハ、亞細亞解放東亞建設ノ聖戰デアリマシテ、永ク英米侵略搾取ノ對照トナツテ居タ東洋ノ復興シ得ルヤ否ヤハ一ニ之ニ懸ツテ居ルノデアリマス。今日ノ亞細亞ハ米英ノ植民地又ハ半植民地デアリマセヌ。亞細亞ハ解放セラレ、東亞ハ建設セラレベキ秋デアツテ、我々ハ相倚リ相扶ケテ此ノ共同ノ聖戰ヲ勝チ抜ク決意ト自信トヲ有スルモノデアリマス。「ビルマ」國ハ此ノ聖戰ニ當リテ英國ノ桎梏ヨリ離脱シタ最初ノ國デアリ、此ノ意味ニ於テモ其ノ獨立ハ歴史的大事件デアアルノデアリマス。即チ「ビルマ」ハ多年ニ互ル英國ノ侵略勢力ヲ排除シ今ヤ新興ノ大業ニ成功ノ實ヲ示

九

シツツアル次第アリマスガ、英帝國ノ束縛ヲ離レテ亞細亞ニ復歸シ其ノ自主ト自由トヲ恢復スルコトニ於テ「ビルマ」國ニ倣フモノハ必ズヤ今後モ相續クコトト思フノデアリマシテ、「スバース・チャンドラ・ボース」氏ノ印度獨立ニ對スル奮闘ノ如キノ意義ニ於テ大ニ亞細亞人ノ氣焰ヲ吐クモノト云ハネバナリマセヌ。

私ハ新興盟邦「ビルマ」國ノ第一回ノ使節ノ記念スベキ到來ヲ歡迎シ、奮闘シツツアル盟邦「ビルマ」國官民ニ對シテ、帝國臣民ノ抱懷スル深厚ナル敬意ヲ茲ニ表示致シマスルト共ニ、杯ヲ舉ゲテ謹ソデ「バー・モウ」國家代表閣下ノ御健康ヲ祝シ、併セテ「デー・モン」閣下及御一行ノ御健康ト使命ノ御達成ヲ祈リ度イト存ジマス。

五、第八三帝國議會衆議院豫算總會ニ於ケル演說

(一八・一〇・二七)

今次ノ戰爭ハ米英ノ乘リ出シタル帝國主義的戰爭ノ最大ナルモノデアアル。米英ハ傳統的ニ世界ノ大部分ヲ自己ノ植民地トシテ支配セントスル政策ヲ有シ、歐大陸ノ諸國家モ亞細亞ニ於ケル諸民族モ皆其ノ傘下ニ集マルベキモノト思惟シテ居ルノデアアル。彼等ハ重慶ハ當然彼等ノ手先トシテ東亞ニ謀反スベキモノト考ヘ、印度ハ水久ニ彼等ノ搾取ニ甘ズベク而シテ「フイリピン」ハ亦永久ニ彼等ノ使驅スベキモノト考ヘテ居ルガ如クデアアル。

英國ハ其ノ世界植民地帝國ノ維持ヲ目的トシテ歐洲ニ於ケル傳統的勢力均衡政策ヲ運用シテ戰爭ヲ挑發シタ。今次ノ戰爭ニ依ツテ其ノ「アラビア」、「イラン」、「イラク」及印度方面ニ於ケル亞細亞民族ノ支配ヲ益々鞏固ナラシメントシ、更ニ再ビ「ビルマ」ニ對スル把握ヲ恢復シテ進ンデ支那及東亞全般ニ對スル支配の地位ヲ奪回セントシテ焦ツテ居ル有様デアアル。

米國ハ今度ノ戰爭ヲ利用シテ其ノ世界的帝國建設ノ野望ヲ實現セントシツツアル。南北米洲ニ於ケル其ノ支配權ノ擴張ハ「モンロー」主義ノ變形デアアルト稱シテ辯明是努メテ居ルガ、更ニ海ヲ越エテ北大西洋方面ニ於テ、又直接歐洲ヲ支配シ得ル北阿及西阿方面ハ勿論、亞細亞其ノ他各地ニ於テ、着々世界の帝國建設ノ地位ヲ固メ、英帝國ノ地位ニ取ツテ代ラントスルトサヘ言ハレテ居ルノデアツテ、「フイリピン」ヲ再ビ占領シテ東亞管理ノ本據トナシ太平洋ヲ支配セント欲スルモノノ如クデアアル。斯クノ如クニシテ世界ヲ米英及其ノ追隨國ノ勢力ノ下ニ置クコトガ眞意デアアルコトガ益々明瞭ニナツテ來タ。

彼等ノ子弟ハ遙ニ其ノ本國ヲ離レテ南北太平洋方面ニ於テ、將又西南亞細亞方面ニ於テ、赤道直下ノ「ソロモン」群島ニ於テモ、無人ノ「ニュギニア」ニ於テモ、彼等ノ恐怖シテ居ル敵即チ我忠勇無比ノ陸海精兵ト死闘ヲ繼續シテ居ル。彼等ハ何故ニ羸弱未閉ノ地ニ懸軍萬里其子弟ヲ敵ノ砲彈ノ好餌トシテ居ルノデアアルカ、彼等ハ何ノ爲メニ大軍ヲ派遣シテ東亞ヲ東亞人ノ手ヨリ奪ハントスルノデアアルカ、言フ迄モナク其ノ世界的植民地帝國ヲ恢復シ又ハ建設セントノ野望ヲ達成セントスルモノデアアル。彼等ハ自ラ此野望ヲ他民族ノ犠牲ニ於テ而シテ相手方ニ對シ所謂「無條件降伏」ヲ強ユル迄徹底的ニ遂行スルモノト稱シテ居ル。美辭麗句ヲ好ム彼等ノ此ノ露骨ナル言葉ハ最モ能ク其野望ヲ宣明シタモノ

デアツテ、此宣明ラナシタル勢力ハ會ツテ我國ヲモ他ノ東亞諸國ト同様ニ植民地トシテ征服セントセシ其ノ同一ノ勢力デアアルコトヲ記スベキデアアル。

帝國ガ堅固以來ノ我善隣友好ノ精神ヲ所謂對支政策ノ實施ニ依ツテ益々鮮明ニシテ以來米英ノ亞細亞ニ對スル政策ハ不思議ニモ表面的ニ變化ヲ遂ゲツツアル様デアアル。彼等ハ最近世界ヲ支配スル數個ノ大國ノ中ニ重慶支那ヲ數ヘテ居リ、之ハ是迄彼等ノ夢想ダニセナカッタコトデアアルガ、戰爭ノ進行ニ伴ヒ有ラユル手段ヲ以テ重慶ノ甘心ヲ買ヒ之ヲ説得シテ日本ニ反抗セシメント焦ツテ居ルモノト見エル。彼等ハ亞細亞人ヲ以テ亞細亞ヲ制禦セントスル傳統的政策ヲ拋棄スルコトハ出來ナイノデアアル。帝國ガ中國ハ中國人ヘノ主義ノ下ニ新政策ヲ推進シテ幾多ノ實施ニ移ルヤ、彼等ハ重慶ト交渉シテ名義上ノ不平等條約撤廢ノ約束ヲナシタ。前回大戰ノ終リヲ告ゲ平和ノ理想境ヲ作り出スベク集マツタ巴厘會議ニ於テ人種平等待遇ノ主義ハ參列者大多數ノ贊同アリタルニ拘ラズ、英米ノ反對ニ依ツテ弊履ノ如ク捨テラレタ。夫レ程從來ノ人種差別ノ觀念ハ深イノデアアルガ、不思議ニモ戰爭途行ト共ニ支那人ニ限り移民法ノ改訂ヲ行ツテ重慶ニ對スル甘言ノ表徴トナサントスル如クデアアル。永イ間約束セラレタ「フイリ、ビン」ノ獨立ハ米國ノ占領セル間ハ有ラユル口實ノ下ニ遷延セラレ恰モ無期延期ノ觀ガアツタ。然ルニ、米國軍隊ガ比島ヨリ追ハレテ其獨立ハ、直ニ準備セラレ、實現シタ。日本ノ政策ハ寧ロ口不言實行ヲ重ズル次第デアアル。然ルニ其ノ行ヒ得ベキ時ニ行ハザリシ米國ハ俄ニ日本ト競爭スルカノ如ク「ルーズヴェルト」ハ「比島獨立ヲ急速ニ實現シ得ルノ權限ヲ議會ニ要求シタ」ト報セラレテ居ル。是ガ彼等ノ造リ方デアアル。東亞ハ東亞人ノ憤起ニ依ツテ救フヨリ外ニ途ハナイノデアアル。

英國ノ亞細亞侵略ノ歴史ハ已ニ久シイモノデアアル。英國ハ印度ニ對シテ其ノ抑壓力ノ恢復スルニ及ビテ約東ヲ破棄シテ顧ミナカツタ。其ノ造リ方ハ前回ノ大戰ニ於テモ、又今回ノ戰爭ニ於テモ軌ヲ一ニスル。然シテ恐ラク「チャンドラ・ボース」氏ノ憤起ニ依ツテ自由印度假政府ノ成立シタ今日、英國ハ又々重慶ニ與ヘタト同様ノ何等カノ空證文ヲ印度ニ提供スルモノデハナイカト思ハレル。印度ガ其ノ東洋ノ本然ノ姿ニ復歸スルノハ印度人自身ノ自覺ト憤起トニ依ルガ最モ捷徑デアアルノデアアル。

米英ノ野望ハ前述ノ如ク既ニ明瞭デアツテ今次ノ戰爭ニ依ツテ世界ニ於ケル其ノ霸權ヲ確立シテ亞細亞ニ於ケル其ノ植民地的支配ヲ恢復セントスルモノデアアル。東亞ハ米英人カラ見レバ侵略搾取ニ好都合ノ植民地デアアルカモ知レヌ。然シ之ヲ我々ヨリ見レバ東亞ハ東亞人ノ郷土デアリ、本據デアアル。我々ハ此ノ本據ヲ衛リ此ノ郷土ヲ守ラナケレバナラス。此戰爭ハ米英ガ日本ヲ政治的ニ經濟的ニ將又武力的ニ抹殺セントセルニ發シタ帝國ニ取ツテ自存自衛ノ戰爭デアツテ、帝國ニシテ若シ東亞ノ防衛ヲ他ノ東亞人ト共ニ果シ得ナカッタナラバ日本ガ大國トシテ其ノ姿ヲナクスルノミナラズ、東亞民族ハ永遠ニ自主獨立ノ機會モナイ。即チ彼等ハ東亞ニ復歸シ得ザルノミナラズ遂ニ米英ノ植民地トシテ去勢セラレ搾取セラルルノ外ハナイ。東亞及東亞人ニ取ツテハ此戰爭ハ民族覺醒ノ鬭爭デアリ、東亞復興ノ聖戰デアアル。東亞ガ巍然トシテ立ツテ此ノ大事業ニ協力セントスルノハ當然デアアル。

支那ハ已ニ支那人ノ手ニ歸シツツアル。泰國ハ英國ニ奪ハレタル其ノ在來ノ領土ヲモ恢復シタ。「ビルマ」モ比島モ獨立シ、自由印度ハ憤起シタ。茲ニ東亞復興ノ黎明ハ到來シタノデアアル。吾人ハ東亞ナル吾人ノ郷土ヲ侵略ヨリ護リ搾取ヨリ救ヒ之ヲ共同ノ繁榮ニ導カネバナラスノデアツテ、之ガ吾人



ノ戰爭目的デアル。而シテ大東亞各國ノ自主獨立ヲ基礎トスル共存共榮ノ大東亞建設ハ平等互惠ノ主義ニ則リ互助敦睦ノ和親關係樹立ニ俟ツテ可能デアルノデアル。東亞ハ覺醒シ奮闘シナケレバナラヌ。固有ノ傳統ヲ重シ宗教ヲ尊重シ文化ヲ發揚シテ以テ東亞ニ復歸シ東亞自體ノ自信ヲ取り返サナケレバナラヌ。然シ乍ラ東亞ハ決シテ排他的デハナイ。東亞ノ共存共榮ハ世界平和ノ一部デアル。之ヲ侵害スルモノニ對シテハ斷ジテ東亞保衛ノ鐵槌ヲ加フルケレドモ、東亞ヲ理解スルモノニ對シテハ之ヲ歡迎スルニ吝デハナイ。

否、東亞ハ世界ニ向ツテ廣ク文化ヲ交流シ、宗教ヲ自由ニシ、人種的差別ヲ撤廢シ、互惠經濟ヲ發達セシメ、資源ヲ開放シ交通ヲ自由ニシ、以テ世界ノ平和及發展ニ貢獻セントスルノデアツテ、以上ガ大東亞建設ノ根本觀念デアル。

此崇高ナル理想アルガ爲メニ吾人ハ勝利ニ對シテ絶對ノ確信ヲ有シ、此戰爭ヲ必要アラバ最後ノ一人迄戰ヒ抜ク決意ヲ有スルモノデアル。

今日戰爭ハ深刻重大デアル。吾人ハ有ラユル内外ノ力ヲ結集シテ之ニ當ル次第デアル。戰爭ノ勝敗ハ一ツニ吾人將來ノ努力ニ懸ルト云フベキデアル。今次世界戰爭ガ吾人ニトツテハ我領土ノ守護ヲ意味スル死活ノ戰デアリ敵ニトツテハ世界制覇ノ植民地戰デアルコトハ前ニ述ベタ通りデアル。由來正義ニ反スル侵略的植民地戰ガ勝ヲ制シタコトハ自分ノ記憶ニ依レバ單ニ支那ニ對スル阿片戰爭ノミデアル。米國ハ曾ツテ困難ナ長期ノ戰爭ノ後ニ英國ヨリ獨立ツ得タ歴史ヲ持ツテ居ル。勝利ノ原因ハ單純ナ兵器ノ數デモナケレバ、物資ノ量デモナイコトハ米國人自身ノ熟知スル所デアル。我皇軍ノ威力モ國民精神ノ發揚モ其ノ正義ハ實ニ茲ニ存スルノデアル。

我東亞政策ハ實行セラレ徹底セラレ戰爭ト共ニ完遂セララル。今ヤ東亞ハ解放セラレ獨立シタ。東亞民族ハ何レモ其ノ要望ヲ達成シ將來ニ對スル希望ニ滿チテ居ル。彼等ノ世界ニ對スル要求ハ平等互惠ノ主義ニ依リ共存共榮以外ノ何物デモナイノデアル。今日東亞ハ協力シ援助シ善隣親和ノ環境ニ於テ飽ク迄亞細亞ノ解放ト東亞ノ復興トヲ目指シ世界ヲ覺醒スベク此ノ聖戰ヲ闘ヒ抜カントスルモノデア

六、自由印度假政府首班「スバス・チャンドラ・ボース」氏 歡迎宴ニ於ケル挨拶（一八・一一・二）

閣下並ニ各位

御許シテ頂キマシテ茲ニ主賓「スバス・チャンドラ・ボース」閣下ニ對スル歡迎ノ辭ヲ述ベ度イト存ジマス。私ガ初メテ閣下ニ御目ニ掛ツタノハ閣下ガ少シ以前ニ東京御來訪ノ折デシタ。勿論閣下ノ御高名ハ夙ニ承ハツテ居リマシタノデ親シク御目ニ掛ル事ヲ切望シテキタ次第デアリマス。各位、閣下ニ御目ニ掛ル事ハ閣下ノ魅力ニ惹キツケラレル事デアリマス。實際私モ其ノ立派ナ力強イ人格ノ力ニ壓倒セラレズニハ居ラナカッタノデアリマス。更ニ閣下ノ言ヲ聞ケバ心服サセラレズニキラレマセン。私ハ其ノ力強キ且理路整然タル議論ニ感服セズニハキラレマセンデシタ。然シ乍ラ私ハ閣下ノ人格ノ魅力並ビニ其ノ雄辯ハ閣下ガ殉教者ノ如キ氣高キ情熱ヲ以テ唱道シ來ツタ正シキ大義ニ淵源スルモノト

信ズルモノデアリマス。

長年月ニ亘リ印度ハ英國ノ壓制下ニ呻吟シ來ツタノデアリマス。印度ノ昔酷且悲惨ナル苦惱ハ即チ全亞細亞ノ苦惱デアツタノデアリマス。何トナレバ印度ノ悲シムハ同時ニ全亞細亞ノ悲ミデアツタカラデス。従ツテ頗ル困難ナル情況下ニ於テ我々ノ友「ボース」閣下ガ印度ノ自由回復ノ爲英雄的ナ闘争ニ出デラレタ事ハ我々ニ對シ極メテ深キ感激ヲ與ヘタノデアリマス。

此等ノ事情ハ今日デハ根本的ニ變更セラレタノデアリマス。東亞ノ地カラハ曾テ猖獗ヲ極メタル「アングロ・サクソン」ノ支配ノ名殘ハ拂拭セラレ、今ヤ勝利ニ輝ク皇軍ハ印度ノ國境近クニキルノデアリマス。遂ニ亞細亞ハ目覺メテ英米ニヨリ無殘ニモ奪奪セラレタル主權ノ獨立ヲ回復シ且確保センガ爲ノ闘争開始ノ呼聲ニ應ジテ起ツタノデアリマス。亞細亞ハ今ヤ眞ニ自己ノ運命ヲ定メントノ希望ト決意トニ振ヒ立ツテ居リマス。我等ハ今ヤ亞細亞ヲ「アングロ・サクソン」ノ搾取ノ糾ヨリ切り離シ且既ニ宣言セラレタル政治的平等、經濟的自由ナル基盤ニ基キ大東亞全域ニ亘ル平和ト繁榮ノ新時代ヲ齎サンガ爲ノ一大闘争ノ眞只中ニアルノデアリマス。印度獨立ノ宿望ハ皇軍ガ亞細亞ノ眞ノ大義ヲ擁護セントスル戰ヒニ於テ獲得セル赫赫タル戰果ヨリ更ニ迫車ヲ掛ケラレタノデアリマス。従ツテ此ノ秋ニ當ツテ「ボース」閣下ノ優レタル指導ノ下ニ自由印度假政府ノ樹立ヲ見タル事ハ頗ル機ヲ得タルモノデアリマス。全亞細亞ノ民衆ガ此ノ慶賀スベキ事ヲ歡喜シタノハ勿論デアリマスガ我々日本人ハ何人ニモ劣ラズ最モ之ヲ歡迎シタノデアリマシテ右ハ我國ノ速カナル同假政權承認ニヨツテ立證セラレル次第デアリマス。今ヤ我々ハ亞細亞ヲ解放シ亞細亞ノ地位ヲ向上セシメル同一目的ニ邁進スル戰友トナツタノデアリマシテ我々ハ此ノ戰ヒヲ共同ノ努力ニヨリ最後ノ勝利ニヨツテ酬ヒラレル時迄デ而

シテ必ズヤ酬ヒラレルノデアリマスガ其ノ時迄デ協力シ戰ヒ抜ク事ヲ誓フノデアリマス。

光ハ東方ヨリ來ル曉ニハ太陽ハ徐クニ昇ルデシヨウガ、空ニ燦ク星ガ光ヲ失フニツレ東ノ窓ハ次第ニ光ヲ増ス朝日ニヨリ明ラムノデアリマス。各位、印度ハ今ヤ朝日ノ昇ルノヲ待ツテキルノデアリマス。今印度ノ水平線ヲ包ム灰色ノ薄闇ハ間モ無ク輝シキ眞晝トナルデセウ。

閣下並ビニ各位、茲ニ益ヲ擧ゲテ印度ノ生メル英雄「ボース」閣下ノ健康ト併セテ閣下ノ偉大ナル事業ノ御成功ヲ祈リ度イト思ヒマス。

七、大阪商工會議所ニ於ケル演說（一八・二・一五）

今主催者ノ言ハレマス通り、今日ノ戰爭階段ハ、誰モガ感ズル如ク既ニ深刻ナル決戰段階ニ入ツテ居ルノデアリマス。前線ノ働キニ表裏シテ國內ニ於テモ舉國最善ノ努力ヲ盡スコトガ今日最モ要求サレテラルコトハ云フヲ俟タヌノデアリマス。

此ノ敵ノ反攻ニ對シテ、今日御承知ノ通り連日果敢ナ前線ノ働キニヨツテ大キナ戰果ガ舉リ我國内ニアル者モ實ニ歡喜ノ情ニ堪ヘナイノデアリマス。

其ノ前線ハ「ソロモン」、「ニューブリテン」、「ニューギニア」又「ビルマ」、南支那ニ於テ赤道直下トモイフベキ炎熱ノ下ニ、空ニ、海ニ、陸ニ又「ジャングル」ノ中ニ非常ナ艱苦ヲ忍ビツツ勇戰奮闘シテ居ルノデアリマスガ、ソノ戰果ハ大キイノデアリマシテ我々ハ洵ニ嬉シイ。何故ソナニ嬉シイノカ、

言フ迄モナクソノ前線ノ働キニヨツテ敵ノ反攻ガ日一日ト破碎サレテラカデアリマス。我々ハ東亞ノ保衛ニ當ツテアルノデアリマス。此ノ戦ヒニ負ケレバ家モ何モ無クナツテシマフ。東亞ハ私ノ會テ申シタ通りニ我々ニトツテハ家デアリ、郷土デアリ、眞ノ本據デアルノデアリマス。此ノ東亞ヲ保衛スルコトガ出來ルカ出來ヌカトイフコトハ即チ帝國ニトツテハ死活ノ問題デアリマス。然ルニ彼等ハ如何トイフニ、他人ノ家ヲ取リニ來ル、他人ノ領土ヲ取ツテ之ヲ利用シヨウトシテ來ル。即チ此ノ戰爭ハ彼等ニトツテハ所謂植民地戰爭デアツテ、本質ニ於テ侵略デアルトイフコトハ爭ハレナイ所デアリマス。我々ハ我々ノ死活ノ戰爭ニ於テ即チ防禦戰ニ於テ飽ク迄モ抵抗シ、戦ヒ抜カナケレバナラス。而シテソノ時トモ申スベキ敵ノ反攻ヲ日々撃破シテ居リマス。コノ戰果ニ對シテハ、我々ハ衷心ヨリ歡喜ノ情ニ堪エナイ次第デアリマス。敵ハ今申ス通りソノ植民地的戰爭ヲ飽ク迄遂行シヨウトイフ決意ヲモツテアルノデアリマス。御承知ノ通りニ彼等ノ戰爭目的トシテ公表シテラ大西洋憲章ニヨツテ見テモ、又「モスコ」ニ於ケル最近ノ三國會談ノ結果ヲ見テモ、彼等ハ如何ナルコトヲ言ツテアルカ、飽ク迄彼等ノ謂フ自由愛好國ヲ結束シテ、敵ヲ征服シナケレバヤマスト言ツテ居ルノデアリマス。自由愛好國トイフノハ自分等ノ味方國デアリマス。味方ヲ糾合シテ敵、即チ樞軸各國ノ無條件降伏ヲ獲得セントスルノガ彼等ノ戰爭目的デアリマス。即チ西ニ於キマシテハ「ドイッ」、東ニ於テハ日本即チ彼等ノ邪魔ニナルコノ兩國ノ大國タル存在ヲ地圖ノ上カラ、若クハ歴史ノ上カラ抹殺シヨウトイフノガ彼等ノ企圖スル所デアリマス。從ツテ若シ帝國ガ彼等ノ希望スルガ如ク維新當初ノ状態ニ還元サレルトイフコトガ萬一アツタ場合ニハドウナルカ。勿論大國トシテノ日本ノ存在ハ無クナル。否ソレダケデハナイ。世界各國ノ今日ノ情

勢カラ見テ世界ノ動キカラ見テ今日ハモウ維新當時ノ如キ状態ニ還元スルコトハ出來ヌノデアリ、左様ナ場合ニ於テハ國ノ存立ガ全然危殆ニ瀕スルコトニナルノデアリマス。

更ニ進ンデ「アジア」全體、東亞全體ハドウナルカトイフト、コレ又從來ノ状態ニ還元スルノミナラズ、一層惡イ状態ニナツテ英米勢力ノ事實上ノ植民地、半植民地トナリ果テルヨリ他無イノデアリマス。今回ノ大東亞會議ニ列席シタ代表ノ一人ガ「此ノ戰爭ニ負ケレバ「アジア」ハ奴隸ニナル、從ツテ是ガ非デモ勝チ抜カナケレバナラス戰爭デアル」トイフコトヲ申シタノハ以上ノ趣旨ニ出テ居ルノデアリマス。

然ルニ英米側ハ「モスコ」會談、或ハ其ノ他ノ場合ニ於テ、御承知ノ通りニ戰後世界ハ米英蘇支ノ四ヶ國ガコレヲ料理スル。東洋ニ於テハ支那ヲ強化シテ、其ノ代表トスルト云フ様ニ決メテ居ルノデアリマス。併シ支那ガ東亞ノ保衛ニ當リ「アジア」ヲ代表スルコトノ出來得ナイトイフコトハ日本人ヨリハ支那人ノ方ガヨク知ツテアルノデアリマス。更ニ又支那人ヨリハ彼等英米人ガヨク知ツテアルノデアリマス。即チコノ言ヒ分モ夷ヲ以ツテ夷ヲ制ス、若クハ分割シテ支配スルトイフ彼等ノ傳統的政策ヲ物語ル以外ニハ何等ノ意味ガナイノデアリマス。

日本ガ大國トシテノ存在ヲ失ヘバ東亞ハ勿論全「アジア」ニ互ツテ回復スルコトノ出來ヌ逆轉ヲ見ルノデアリマスガ、英米ハ斯様ニシテ世界ヲ英米一色ニ塗リツツサウトシテ居ルトミナケレバナラスノデアリマス。ソノ例ハ「イタリ」ノ没落ニヨツテヨク御存ジノ所デアリマス。「イタリ」ハ何等カ得ル所アラウトシテ降伏シタノデアリマスガ、ソノ結果ハ豫期サレテ居タ無條件降伏ヨリモ更ニ慘メナモノトナツテシマツタノデアリマス。



斯様ナ譯デアリマスカラ、コノ自衛自存ノ戦争ハドウシテモヤリ拔イテユカナケレバナラスノデアリマス。之ハ唯日本ノ爲メダケデアリマセン。今オ話シタ通りコレガ東亞、「アジア」ノ共同戦争トナツタコトハ今回ノ大東亞會議ノ狀況デモヨク了解サレル所デアリ、「アジア」ハ茲ニ全ク覺醒シタ譯デアリマス。大東亞ハ茲ニ獨立ノ戦争ヲ戦ヒツツアルコトヲ認識シテ來タノデアリマス。我等ハ郷土ヲ守ル爲メニ、家ヲ衛ル爲メニ死活ノ戦ヲ戦ツテ居ル。彼等ハ世界ニ弱ヲ唱ヘンガ爲メ亞細亞ヲ再ビ挫取センガ爲メ侵略戦ヲナシツツアル。米英ノ青年ハ斯ル殖民地戦ノ爲メニ「ニューギニア」「ソロモン」「ビルマ」ニ或ハ赤道直下ノ炎熱ノ地ニ我精銳ト鎗ヲ削ツテ背烈ナ戦争ニ死ンデ行キツツアル。同ジ戰場ニ於ケル死闘モ其ノ意義ハ全然異ルノデアアル。コノ趣旨ハ今回ノ大東亞會議ニ於テ各代表カラ遺憾ナク表示サレタ次第デ茲ニコノ共同戦争ヲ必ズ戦ヒ抜カナケレバナラス、又必ズ勝ツトイフ信念ガ生レテ來ルノデアリマス。

我ガ必勝ノ信念ハ全ク今申述ベタ所ヨリ來ルモノデアリマス。我ガ忠勇ナル皇軍勇士ハ此ノ信念ノ下ニ前線ニテ戦ヒ又戦後ノ勇士ハ此信念ヲ以テ働イテ居ルノデアリマス。我々ガ、今私ガ御話シタ通り我々ノ家デアリ、本據デアリ、ソノ郷土デアアル東亞ヲ護ルトイフ精神ハ如何ナルモノヨリモ強イノデアリマス。而モ此ノ郷土防衛ノ精神ハ單ニ一億日本人ノ信念トナツテアルノミナラズ、東亞十億ノ精神更ニ全「アジア」ノ精神トシテ擴ガリツツアルノデアリマス。

東亞ヲ多年ニ亘ツテ、侵略搾取シ、之ヲ殖民地、半殖民地トシテ利用シテ居タ侵略者米英ヲ排除シテ東亞ノ郷土ヲ取返シ、且ツコレヲ防衛スルコトホド神聖ナル戦争ハナイ。斯様ナ自分ノ身體自身ヲ防衛スルトイフヤツナ意義ヲモツテアルコト、戦争ハ、英米等ガ他人ノ身體ヲ盜ツテ之ヲ奴隸ニスルトイ

フ植民地的ノ戦争ハ餘程意味ガ異ツテキルノデアリマス。コレガ必勝ノ信念ノ湧ク根本デアリマス。此ノ郷土保衛ノ戦争ハ必ズ目的ヲ達スルニ違ヒナイノデアリマス。

會テ「アメリカ」「イギリス」ノ植民地タル羈絆ヲ脱スベク七年間闘争シタノデアリマス。彼等ハ當時ノ母國デアアル強大ナル英國ノ搾取ヲ排斥スルトイフ獨立精神カラ戦ツタノデアリマス。コノ精神ガ當時米國ノ勝利ヲ獲得シタ根本デアツタノデアリマス。決シテ物質的ナル鐵砲ノ數デ争ツタ譯デハナイノデアリマス。從ツテコノ精神ガ如何ニ貴重デアリ、又力強イモノデアアルカトイフコトハ、「アメリカ」自身ガ知ツテ居ルノデアリマス。今日亞細亞ノ自由解放ノ戦争ヲナシ、東亞獨立ノ戦争ヲナシテアル、即チコノ郷土防衛ノ精神ガ必ズ勝利ヲ齎スモノデアアルト確信スル次第デアリマス。

而シテ又更ニ進ンデ、ソノ勝利ヲ生ム次ノ重大ナ原因ハ、今回ノ戦争ガ自存自衛ノ戦争デアアルノミナラズ、多年ノ壓迫カラ東亞ヲ解放シ、安定ヲ齎サントスル重要ノ意義ヲモツテ居ル「アジア」解放ノ正義ノ戦争デアルトイフコトデアリマス。

英米ハ常ニ巧妙ナ政策ヲ以テ植民地ニ臨ミ、之ヲ搾取スルコトニ努メテ居リマス。彼等ノ常套手段トスルトコロハ常ニ其ノ住民ヲ精神的ニ去勢シ、之ヲ懷柔シ經濟的ニハ搾取スルコトデアリマス。此ノ政策ガ御承知ノ通りニ何百年間、東へ東へと續イテ實ハ日本迄來タノデアアルガ、日本ノ反撃ニヨツテ波ハ西ニ打チ返シテ行ツタノデアリマス。維新開國以來ノ日本ノ國是ハ實ニ東亞復興「アジア」解放ニアツタノデアリマス。コレハ正シク正義ニ合スル大經倫、大政策デアリマシテ、今日大東亞戦争ニヨツテ現實ニ戦ハレテ居ル點デアリマス。

斯様ナ譯デアリマスカラ、大東亞諸國家諸民族ハ何レモコノ正義ノ旗印シノ下ニ結集スルノデアリマ



ス。彼等ハ今日帝國ト共ニコノ死活ノ戰爭ヲ戦ヒ抜クコトガ又自分等ノタメデアルトイフコトヲヨク諒解シ、認識シテ、共ニ戰フトイフ決心ヲ固メ、大東亞會議ニ於テモコノ決心ガ表示サレタ譯デア
ル。今日迄英米等ニ侵略擄取サレテ來タソノ状態ハコノ大東亞戰爭ニヨツテ一變シ、彼等ハ何レモ多
年ノ民族的要望ヲ達成シ、東亞地域ニ於テ平等互惠ノ原則ノ下ニ共ニ繁榮シテ行キ得ルトイフコトニ
氣附イタノデアリマス。

若シ大東亞地域ニ於テ支那「タイ」、ニ對シ又「フィリッピン」「ビルマ」、「ジャワ」等ニ對シ、日本ノ政
策ガ侵略、擄取ノ政策デアツタナラバ、彼等民族ハ日本ノ擄取政策ト英米ノ擄取政策ト比較研究シ、
ソノ利益アル方ニ就クコトハ分リ切ツタコトデアリマス。併シナガラ帝國ノ政策ハ肇國以來ノ大精神
ヲ發揮シ他民族國家モコレヲ同胞トシテ取扱ヒ、平等互惠ノ下、彼等ノ立場ヲ十分ニ顧慮シテ互ニ助
ケ合ツテユコウトイフ政策デアルコトガ明瞭ニナツテ來タノデアリマスカラ彼等ハ豁然トシテ「アジ
ア」ニ復歸シテ來タ譯デアリマス。
「フィリッピン」人ハ元來「ラウレル」自身ノ言フ通りニ東洋ニ於ケル西洋人デアリマス。顔コソ東洋人デア
ルケレドモ心ハ全ク西洋化サレテ居ル。一言ニシテ云へバ全然植民地トシテ去精サレテ居タノデア
ル。然ルニ今度ノ日本ノ政策ニヨツテ初メテ東洋ニ復歸スル氣持ニナツタノデアアル。支那モ東洋ニ復
歸シ印度モ東洋ニ還ラナケレバナラナイ。東洋ニ復歸シ、東洋ノ一國トシテ自主的發展ヲ遂ゲルトイ
フ自信ヲ取返シツツアルノデアアル。
今同ノ大東亞會議ノ成果ノ最モ大キナモノハ、斯様ニ東洋人ノ精神ヲ取返シ、東洋人ノ自信ヲ確認ス
ルコトガ出來タトイフ點デアラウカト考ヘルノデアリマス。

斯様ナ政策ハ固ヨリ天下ノ公道デアリ、コノ精神ハ一層世界ニ押シ擴メテユカナケレバナラスノデア
リマス。帝國ノ政策ハ根柢ニ於テ排他的デナイコトハ大東亞會議ニ於テ一代表者ヨリ強ク指摘サレタ
所デアリマス。

今同ノ大東亞宣言五原則ハ決シテ「モンロー」主義ノヤウナモノデハナイノデアリマス。「モンロー」主
義ハ他ヲ排撃シテ南北米洲ニ於ケル「アメリカ」ノ帝國主義ヲ確立セントスルモノデアリマスガ、大東
亞ノ五原則ナルモノハ決シテ排他的ノモノデナク經濟的ニハ狹スギルコノ世界ニ對シテ各民族國家ノ
自由ナル、又ソノ能力ニ應ズル活動ヲ充分ニ認メルトイフ開放主義ヲトツテアルノデアリマス。資源
ヲ開放シ文化ヲ交流シテ、互ニ切磋琢磨シ、世界ノ交通ノ如キハヨロシク全人類ノ利益ノタメニ自由
ニ開放スベキデアリ、斯様ニシテ行クコトガ世界平和ニ貢獻スル所以デアルノデアリマス。
更ニ又人種的ノ差別ヲ附シ、到ル處軋轢鬭爭ノ種ヲ蒔イテアル英米ノ異人種排斥ノ政策ノ如キハ斷ジ
テ許スコトハ出來ヌノデアリマス。御承知ノ通りニ二十數年前ノ「パリ」會議ニ於テ帝國代表ハ人種平
等主義ノ採用ヲ主張シタノデアリマスガ、大多數ノ會議出席者代表ハコレニ賛意ヲ表シタニ拘ラズ、
英米ニ於テ反對シタ爲、遂ニ全會一致ヲミルコトガ出來ズ、此ノ主義ハ排除サレタノデアリマス。何
レニ致シマシテモ到ル處英米ノ領域ニ於テハ甚ダシキ人種差別待遇ガアルノデアリマスガ、斯様ナコ
トハ世界平和ノ大障礙デアリマスカラ斷然排除シナケレバナラス次第デアリマス。「アメリカ」ノ移民
法ノコトハ御承知ノ通りデアリマス。最近ニ至ツテ米國ハ支那人ニ關スル限り移民法ノ制限ヲ撤廢ス
ル、即チ支那人ノ入國ノ割合ヲ他ノ國ト同様ニスル方針ヲ採ツタノデアリマス。コレハ何モ「アメリカ」
ガ進ンデ人種差別ノ待遇ヲ撤廢スルトイフヤウナ意味ノモノデハナクシテ、寧ロ重慶政權ヲ英米ノ陣

營ニ繋ギ止メヤウトスル方便ニ使ツタノデアリマシテ、之又分割シテ支配スル又ハ夷ヲ以テ夷ヲ制スルトイフ意味ノ造リ方デアアルノデアリマス。

大東亞五原則ナルモノハ、世界ニ對シテ正義ヲ布クモノデアアル。今申ス通りニ經濟交通及文化等全テノ方面ニ開放ノ主義ヲトリ、平等ノ主義ヲ採用シテアルノデアリマス。斯様ナ政策ハ自信ノアル國家、民族ニシテ初メテ出來得ルモノト考ヘルノデアリマス。此ノ政策ハ今申ス通り世界ノ公道デアリマスカラ、世界ニ對スル建設的ノ政策デアアルノデアリマス。世界ハ經濟的ニハ今日狹過ギルト申シタノデアリマスガ、コレヲ政治的ニ見ル場合ハ世界ハ未ダ廣過ギル。英米ハ政治的ニ世界ヲ英米ノ一色ニ塗リツブシ、コレニ反抗スルモノハ自由愛好ノ精神ガナイトシテ武裝ヲ解除シ、其ノ上ニ世界ニ對シテ警察權ヲ行使シテ自分等ノ思フ通りニコレヲ監視シテ行コウトスル建前ヲ持シテ居ルノデアリマス。併シナガラ之ハ事實上殆ド不可能ナコトデアリマス。「アメリカ」ハ「アメリカ」自身ノコトハヤルガヨロシイ。又「ヨーロッパ」ハ「ヨーロッパ」ノコトヲヤルガヨロシイ。然シ東亞ハ東亞人ニヨツテ政治的ニ運用シナケレバナラヌノデアリマス。併シナカラソレハ別ニ一國ガ自由勝手ノコトヲスルノヲ許ストイフ意味デハナイノデアツテ、前ニ申ス通りニ平等互惠ノ原則ニ依リ互ニソノ所ヲ得テユクベキデアルノデアリマス。即チ東亞ハ東亞トシテ家族的ノ親和ヲ建設シ以テ世界平和ニ貢獻シヨウトイフ政策ガ、今回ノ大東亞宣言ニヨツテ表明サレタ次第デアリマス。

斯様ナ世界ノ公道ニ依リ世界ノ建設ヲ目標トシテアル政策ハ、必ズヤ世界ノ承認スルトコロトナルベキデアリマスガ、コノ大建設政策モ英米ニトツテハ破壊政策ト觀ゼラレルノデアリマス。彼等ハ西ニ於テ「ヨーロッパ」ヲ支配スルモノハ世界ヲ支配スルモノデアルトイフ考ヘノ下ニ「ドイツ」ヲ粉碎シ東ニ

於テハ東亞ヲ處理シテ世界ニ號令スル爲メニ日本ヲ征服シヨウトイフノデアリマス。左様ナコトハ今日許サレナイノデアリマス。コノ戰爭ハ飽ク迄彼等ノ野望ヲ粉碎シテ、亞細亞ノ解放東亞ノ建設ヲ實現スルモノデナケレバナラヌノデアリマス。

コノ信念ガ先程申シマス通り、國內一億上下一致ノ決心及ビ信念トナツテ初メテ力強ク運用出來ルノデアリマス。而シテコノ日本上下ノ信念ガ基礎トナツテ大東亞十億ノ人々ノ信念ト相成ルノデアリマス。今日前線ニ於テ深刻苛烈ナル戰爭ヲ續ケ非常ナ戰果ヲ擧ゲテキルノデアリマスガ、ソレモ斯ノ信念ガ國內各方面ニ徹底シテ生産其他ノ方面ニ成績ヲ擧ゲテユクコトガ背景トナツテキルノデアリマス。

戰ヒハ決シテ油斷モ隙モナラヌ、コレカラトイフトコロデアリマス。敵ハソレヲ好ク承知シテラリ、彼等ノ世界ニ對スル野望ヲ達スル爲メニ樞軸國側ノ無條件降伏ヲ目標ニ反攻シテ來テ居ル次第デアリマシテ、ソノ反攻ハ日々激烈トナツテ居リマス。從ツテコレニ對シテ飽ク迄東亞ヲ防衛シ、彼等ヲ擊滅スルコトガ日本ヲ救ヒ、且ツ又大東亞ヲ救フ途デアアルノデアリマス。毎日前線ニ在ツテ死闘ヲ續ケ、敵艦ヲ擊沈スル爲メニ體當リヲシテ居ル將兵ノ精神ガ國內ニモ直通シテ居ルノハ、全ク此戰爭ノ意義ガ以上ノ如キモノデアアルカラデアリマス。何人モ各々ソノ職ニ在ツテコノ精神ヲ以テ、謂ハバ屍ヲ踏ミ越エテ進ンデ行キ、飽ク迄コノ苛烈ナ戰爭ヲ戰ヒ抜カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス。素ヨリ斯ノ如キ大キナ仕事ヲ民族的ニ進メテユクコトイフノハ極メテ冷靜ニ考ヘテユカナケレバナラヌ。精神ハ飽ク迄旺ンニ態度ハ飽ク迄冷靜ニ、各自受持チ受持チノ職分ニ最善ヲ盡シ、ソノ上ハ神助ヲ待ツテ冷靜ニ事ニ當ルトイフコトニ致シテ參リマスレバ、必ズヤ天佑ハ我ニアリ、斯クシテ我が神

國ノ爲ニ、此ノ死活ノ戰爭ヲ戰ヒ拔クバ必ズヤ將來ノ途ガ開ケルノデアルト考ヘル次第デアリマス。

二六

八、日獨伊三國協定二周年記念祝宴ニ於ケル挨拶及交

一、祝宴ニ於ケル挨拶

閣下並ニ各位
本日ハ日獨伊三國協定締結二周年記念日ヲ迎ヘルニ當リマシテ來賓各位ト共ニ慶祝ノ意ヲ表シ度ク御招待申上ゲマシタル處、獨逸國大使閣下洪牙利國及勃牙利國各公使閣下羅馬尼國代理公使貴下伊太利國利益代表「フリンチビーニー」大佐ヲ初メ閣下各位多數ノ御臨席ヲ辱ク致シタルコトハ私ノ衷心ヨリ光榮トスル所デアリマス。

本日ハ二年前、帝國ガ米英ノ挑戰ニ應ジ自存自衛ノ爲驟然起ツテ米英ニ宣戰ヲ布告スルヤ獨伊兩國亦直ニ之ニ應ジテ米國ニ宣戰シ斯クテ日獨伊ガ米英ニ對スル共同戰爭ノ完遂ニ至ル迄斷ジテ干戈ヲ收メザルノ確固不動ノ決意ヲ誓ツタ意義深キ歴史的記念日デアリマス。
開戰前ノ經緯ヲ顧ミマシテモ、米國ハ英國ヲ極力援助シテ先ヅ獨伊ヲ打倒シ、然ル後米英相率キテ帝國ヲ屈服セシメント企圖シタコトハ明デアリマシテ、西ニ於テ獨伊ヲ打テ東ニ於テ日本ヲ破レバ、全世界ハ再ビ「アングロサクソン」ノ手ニ歸シ、茲ニ彼等ハ歐洲ヲモ亞細亞ヲモ彼等ノ思フ儘ニ支配スル

コトガ出來ルト考ヘタ様デアリマス。吾人ハ茲ニ於テ吾人ノ生存ト權利ノ擁護ノ爲ニ米英ニ強制セラレタル戰爭ヲ共同シテ全力ヲ擧ゲテ戰ヒ拔クコトトナツタデアリマス。

爾來二年前東西樞軸國ハ緊密ニ相連繫シテ善謀勇戰、共同ノ敵ニ對シ痛撃ヲ加ヘ來リ戰友トシテ相共ニ戰場ニ血ヲ流シツツアリマス。此ノ尊キ血潮コソハ共同戰爭遂行ノ盟約ノ一字一語ヲ綴ルモノト言フベキデアリマス。勇敢ナル獨逸軍ハ陸ニ海ニ將又空ニ赫々タル偉勳ヲ立テ、尙武ノ國民タル光輝アル傳統ヲ遺憾ナク發揮シ敵ノ心膽ヲ寒カラシメテ居リマシテ忠勇並ビナキ皇軍亦廣大ナル戰場ニ於テ隨所ニ敵ヲ粉碎シ大ニ戰果ヲ擧ゲツツアルコトハ御承知ノ通りデアリマス。今次戰爭ハ或意味ニ於テ往時ノ七年戰爭ヲ偲バシムルモノガアリマスガ、「フレデリック」大王及「ピスマルク」宰相ヲ生ンダ獨逸ハ今ヤ不世出ノ「ヒトラー」總統指導ノ下ニ偉業完成ニ邁進シテ居リ、「ムッソリーニ」首班ノ健在ナル事實ト共ニ樞軸ノ戰勝ハ茲ニ保障セラレ、世界正義ハ必ズヤ吾人ノ手ニ依ツテ戰ヒ取ラレルモノト信ズルモノデアリマス。

敵米英ハ唯々物質力ヲ恃ミ頻リニ東西ニ於ケル反攻ヲ呼號シ脅喝政策ヲ振り廻シテ居リマスルガ、今日東西ニ於ケル軍事上ノ彼等ノ不成功ハ却ツテ彼等ヲシテ益々焦慮セシメテ居ルガ如クデアリマス。日獨及其ノ與國ハ夙ニ備フル所ガアリ、防禦ハ正ニ鐵壁デアリマス。吾人ノ目的トスル所ハ民族國家ノ自主獨立ヲ基調トスル共存共榮デアツテ之ノ恒久平和ノ不動ノ基礎タルベキモノデアリマス。正義ノ建設ヲ破壞シ「アングロサクソン」ノ世界支配ヲ再現セントスル英米ノ企圖ハ要スルニ昔作ラノ帝國主義的侵略ト搾取デアリマス。吾人ハ自存自衛ノ爲メ我郷土ヲ死守シテ國際正義ノ防衛ニ當リツツアルノデアツテ正義ノ大旗ノ下、勇武並ビナキ我等ノ精銳ノ働キアリ、而シテ共ニ戰ヒ拔ク牢固タル

二七

コト金鐵ノ如キ決意ニ依リ終局ノ勝利ヲ獲得スベキコトハ今ヤ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス。茲ニ
盃ヲ擧ゲテ獨逸大使閣下以下御列席各位ノ代表セラレル盟邦與國ノ前途ヲ祝福シ、併セテ樞軸ノ勝利
ヲ祈念シ度イト存ジマス。

二、交換放送演説

本日ハ日獨伊三國協定締結ノ記念日デアリマス。
二年前十二月八日米英ノ挑戦ニ應ジテ、帝國ガ立チ上ルト共ニ、獨伊兩締盟國モ亦直チニ之ニ呼應シ
テ共同戦線ニ立チマシタ。而シテ日獨伊三國ガ米英ニ依ツテ強制セラレタル戦争ヲ、一切ノ強力手段
ヲ以テ勝利ニ至ル迄遂行スルコト、及三國ハ相互完全ナル了解ニ依ルニ非レバ、米英ノ何レトモ休戦
ヲ媾和ヲナサザルコト、更ニ又戦勝後ニ於テモ三國同盟條約ノ趣旨ニ依ツテ、密接ニ協力提携シテ、以
テ戦後ノ經營ヲ行フコトヲ誓ツタノデアリマス。以上ノ趣旨ノ取極ハ一年前ノ本日、三國間ニ成立シ
タノデアリマシテ、此ノ記念日ヲ祝スル爲メニ、本日畏クモ 天皇陛下ハ獨伊兩國元首トノ間ニ御親
電ノ御交換ヲ遊サレ、且ツ各首都ニ於テ夫レ夫レ記念行事ガアツタ次第デアリマス。
二年前ニ帝國ニ對シテ戦争ヲ挑發シタ米英ハ最近相會シテ其ノ真意ヲ明ニシ日本ヲ征服シテ之ヲ維新
前ノ姿ニ返ヘシ、之ガ妨害トナル皇軍武力ヲモ取り上ゲテシマウコトガ彼等ノ戦争目的デアルト稱シ
日本ヲ無條件ニ降伏セシメ得ル迄戦争ヲ遂行スルト云ツテ居リマス。維新前ノ姿ニ日本ヲ返スト云フ
ノハ如何ナル意味デアリマセウカ。
亞細亞ハ幾千年ノ輝ク文明ヲ有チ乍ラ、平和ト無爲トノ間ニ安逸ヲ貪ツテ居ツタ爲メ、後カラ追ツテ

來タ英米等ノ武力ノ前ニハ敵スルコトガ出來ナカッタノデアリマス。彼等ハ過去數世紀ニ互ツテ、亞
細亞ヲ、西ヨリ東ヘト一ツ一ツ侵略シテ進ンデ來マシタ。「アラブ」ノ世界モ、「イスラム」ノ世界モ、
而シテ印度モ、緬甸モ、馬來モ、「ジャワ」モ、將又「フィリピン」モ何レモ彼等ノ植民地ト化シマシタ。
東亞大陸ハ南ヨリ北ニ至ル迄、植民地若ハ半植民地ノ状態トナツタノデアリマス。斯ノ如クシテ彼等
ハ亞細亞ヲ侵略シ搾取シテ、彼等本國ノ際限ナキ物質上ノ繁榮ニ利用シタノデアリマシテ、支那ヲ征
服スル爲メニ、鴉片戦争ヲ敢テシマシタ。彼等ハ最後ニ殘サレタ日本ヲモ同様ニ制禦セントシテ、
艦隊ヲ差向ケテ來タノデアツテ、鹿兒島ヲ砲撃シタ英國艦隊モ、「ペルリ」ノ率キタ米國艦隊モソノ目
的ハ何レモ日本征服ニアツタノデアリマス。
今日米英ノ夢見テ居ル所ハ時計ノ針ヲ逆轉シテ日本ヲ此ノ時代ノ状態ニ復歸セシメヤウト云フノデア
リマス。

之ガ果シテ可能ノコトデアリマシヨウカ。
日本ハ開國以來殆ンド一世紀ニ互ル驚異の奮闘ニ依ツテ、遂ニ世界ノ列強ト共ニ國際場裡ニ馳騁スル
コトトナリ、世界ノ進運ト共ニ、次第ニ其ノ内容ヲ充實シ、大國トシテ世界平和ノ責任ヲ擔任スベキ
使命ニ置カルルニ至ツタノデアリマス。
現今ノ世界ハ人類ノ活動上カラ見テ、經濟的ニハ已ニ狹過ギルニ至ツタノニモ拘ラズ、資源ハ米英等
ノ獨占スル所トナリ、異民族ハ其ノ搾取スル所トナツテ居ル狀況デアリマス。然ルニ政治的ニ之ヲ見
レバ世界ハ今日猶廣過ギルノデアツテ、未ダ全世界ガ一勢力ノ支配ニ歸スベキ時代ニハ到底至ツテ居
ナイニモ拘ラズ、米英ハ濫リニ自己ノ持チ分ヲ越ヘテ、武力ヲ以テ他ヲ支配シ、世界資源ノ獨占ト他



民族ノ擧取トヲ永久化セント試ミテ居リマス。

日本ガ大國トシテ、亞細亞ノ先驅トシテ、東亞ノ衛リトナルハ彼等ノ最モ好マナイ所デ、彼等ハ先ヅ日本ヲ強大ナラシメザル爲ニ有ユル策動ヲ致シマシタ。其ノ最モ顯著ナルモノハ、支那ヲ使喚シテ日本ト相争ハシメル政策ノ樹立デアリマシテ、昭和二年末即チ、一九二七年ノ英外相「オーステン・チエムバレン」ノ「クリスマス」勲書ナルモノハ其ノ著名ナル例デアリマス。「分割シテ支配スル」ノハ彼等ノ常套手段デアツテ、歐洲ニ於テハ勢力均衡ノ政策トシテ實施セラレ、支那ニ於テハ門戶開放機會均等ノ政策トナツテ現ハレマシタ。

彼等ハ利己獨善ノ主義政策ヲ他ニ強制セントスル習癖ヲ有シ、彼等ト同様ノ性格ト主義トヲ有セザルモノハ、盡ク之ヲ異端者トシテ排斥スルノ傳統ヲ持スルモノデアリマス。彼等ハ世界ヲ英米一色トシテ恣ニ之ニ號令セントスルモノデ、嘗テハ英國流ノ平和機構 Pax Britannicaヲ設定シタノガデアリ、今日デハ米英流ノ機構ヲ設定セントスルノガ即チ之デアリマス。

米英ハ已ニ大國トシテ日本ノ存在ヲ許サザルノ決意ヲ堅メ、政治的ニハ其傳統政策タル「分割シテ支配スル」ノ手段ニ訴ヘ、經濟的ニハ其ノ獨占セル資源ト組織セル經濟力トヲ武器トシテ、經濟戰爭ニ直進シタノデアリマシテ、戰爭ハ實ニ眞珠灣以前ニ既ニ彼等ニ依ツテ初メラレテ居ツタノデアリマス。

大東亞戰爭二年ニシテ皇軍ノ向フ所敵ナク、凡ソ東亞ノ地域ヨリハ侵略勢力ヲ驅逐スルコトガ出來マシタ。全亞細亞ヨリ之ヲ驅逐スルノハ猶之カラデアリマス。侵略勢力ノ東亞ニ殘存スル間ハ、東亞ハ之ガ爲自然ノ姿ニ在リ得ナカッタノデアリマスガ、侵略勢力ガ驅逐セラレテ、茲ニ初メテ東亞ノ姿ハ自然ニ復歸シテ其ノ貌ヲ鮮明ニスルニ至リマシタ。

其ノ姿ガ如何ナルモノデアルカハ、支那ニ對スル我新政策又其ノ延長タル我東亞政策ノ具現ニ依ツテ表ハサレテ居リ、先般大東亞會議ニ於テ、我同盟各國ノ政府首席ニ依ツテ採擇聲明セラレタル大東亞宣言ニ明示サレテ居ルノデアリマシテ、次ギノ五ツノ根本觀念ヨリ出發致シテ居ルノデアリマス。

其ノ第一ハ亞細亞ハ既ニ英米人ノ植民地又ハ半植民地タルベキニアラズシテ、侵略擧取ヨリ解放セラレ、亞細亞人ニ復歸スベキモノナリトスルモノデアリマス。

其ノ第二ハ亞細亞ハ復興シ、東亞ハ建設セラレベシトスルニアリマス。亞細亞ニ於ケル各民族國家ガ自主獨立ヲ恢復シ、相互ニ之ヲ尊重シ、政治的ニハ平等、經濟的ニハ互惠ノ關係ヲ保ツコトガ建設ノ基礎デアツテ斯クシテ、善隣友好ノ國際關係ガ發達スルノデアリマス。

其ノ第三ハ解放セラレタル地域ガ、侵略擧取セラレルコトヨリ保衛セントスルニアリマス。帝國ガ維新以來開國進取ノ氣象ヲ以テ、肇國ノ精神ニ基キ、亞細亞解放ノ大事業ニ挺身シテ來ツタ所以ハ、「兆民各々其ノ所ヲ得ル」共存共榮ノ世界ヲ招來セントスルニ他ナラヌノデアリマス。折角解放セラレタ東亞ガ再ビ他ノ侵略擧取ノ對象トナルコトハ、東亞民族ニトツテ、到底耐エ得ナイ所デアリマス。吾人ハ米洲ヲ米洲人ガ歐洲ヲ歐洲人ガ、各々其ノ所ヲ得テ共存共榮ヲ圖ルニ對シ何等異議ヲ唱ヘルモノデアリマセヌ。然シ乍ラ東亞ハ當然東亞人ニ復歸セネバナラスト考フルノデアリマス。

第四ノ觀念ハ經濟的文化的ニハ有無相通ズル相互開放ノ主義ガ、吾人ノ履ムベキ途ナリトスルニアリマス。依ツテ資源ハ開放シ、貿易及交通ハ自由トシ、文化ハ交流セラレベキコトヲ建前トシ、又海洋ノ自由モ是認セラレベキデアリマス。之ガ人類生活ノ本體デナケレバナリマセヌ。斯クシテ動トモスレバ起ル政治上ノ葛藤ヲ、出來得ル限り緩和スルコトニ努力セネバナラスノデアリマス。經濟的ノ排

他獨占主義ハ遂ニ英米派ノ經濟戰爭ノ思想ヲ生ミ、武力戰爭ヲ誘致スルノデアリマス。從ツテ政策遂行ノ爲ノ武力戰爭ガ否定セラルトスレバ、政策遂行ノ爲ノ經濟戰爭モ亦否定セラルベキデアリ、之ト共ニ、經濟戰爭ヲ開始セルモノハ當然戰爭責任ヲ負ハザルベカラザルモノデアリマス。

觀念ノ第五ハ平等互惠ノ思想ハ、國際關係ニ於テ之ヲ廣ク世界ニ及スベシトスルニアリマス。東亞ニ於ケル各民族國家ガ平等互惠ノ原則ニ基イテ、共存共榮スルト共ニ、吾人ハ此ノ主義ノ實行ヲ世界ニ向ツテ、要求スルモノデアリマス。如何ナル國家モ、其ノ大小強弱ヲ問ハズ、平等ノ待遇ヲ與ヘラレ又互惠ノ關係ニ立ツベキモノト信ジマス。之ト同様ニ吾人ハ人種差別觀念ヲ排除シ、人種ニ付テモ平等ヲ主張スルモノデアリマス。英米ノ人種差別觀念ノ強烈ナルコトハ、白種主義ヤ移民問題ヲ初メトシ、南阿ニ於ケル亞細亞人排斥、米國ノ黑人私刑事件等ニ依リ明カデアリ、右ハ何レモ文明ノ汚點デアルト共ニ、重大ナル政治問題ヲ構成スルモノデアリマス。人種差別待遇ノ撤廢ガナケレバ、亞細亞ノ眞ノ解放モナク、又世界ノ眞ノ平和モ望ムコトハ出來ヌノデアリマス。以上ハ大東亞會議ヲ通ジテ世界ニ宣明セラレタ大東亞諸國ノ政策ノ基本ヲ説明シタモノデ、帝國ノ政策モ亦當然之ニ基礎ヲ置イテ居ルノデアリマス。

今ヤ東亞ガ建設セラレ、亞細亞ガ解放セラレントスルノヲ見タ米英ハ、東亞保衛ノ樞タル日本ノ大國タル存在ヲ否認スルノ意圖ヲ公表シ、以テ從來抱懷シテ居タ日本征服ノ眞意ヲ暴露シタノデアリマス。彼等ハ時計ノ針ヲ逆轉シテ日本ヲ維新前ノ舊態ニ押シモドサントノ企圖ヲ明ニシマシタ。現ニ「カイロ」會議ニ重慶ヲ拉シ來ツテ有ユル甘言ヲ以テ其ノ離脱ヲ防ギ、日支ヲ互ニ相爭ハシメン爲メ重慶ニ對シテ將來、支那ヲ以テ日本ニ代ヘントノ約束ヲ與ヘタノデアリマス。彼等ガ不可能ナル事ヲ約

三三

束シテ、重慶ヲ對日戰爭ノ一兵卒トシテ彼等ノ利益ノ爲ニ驅使セントスルノハ、如何ニ日本ノ強大ヲ恐ルル爲メトハ言ヘ、東亞ヲ分裂抗爭ニ導キ、茲ニ分割シテ支配セントスル彼等ノ心理ヲ遺憾ナク暴露シタモノト言フベキデアリマス。

米英ハ日本征服ノ意圖ヲ脅喝ノ文字ヲ連ネテ居ルニ過ギヌモノデアリマスガ、彼等ノ意圖ハ寧ロ一ツノ戰爭ヲ以テ他ノ戰爭ヲ誘致セントスルニアルガ如ク、世界平和ニ對シ建設的ナル何物ヲモ示シテ居リマセヌ。單ニ彼等ノ亞細亞征服及ビ世界支配ノ非望ヲ表示スルノミデアリマス。之ヲ我が東亞同盟諸國ノ採擇セル大東亞共同宣言ト對比致セバ、其ノ主張ノ正邪ハ申ス迄モナク、一ツハ建設的ナルニ反シ、他ハ破壞的ニシテ人類歷史上好個ノ對照ヲナスモノト云ハナケレバナリマセヌ。民族覺醒ノ黎明ヲ迎ヘテ全亞細亞ニ自主獨立ノ氣運ガ澎湃トシテ興リツツアル秋、斯カル米英ノ小策ハ到底效ヲ奏スルコト能ハザル次第デアリマス。

帝國ハ今ヤ我同盟諸國ト協心戮力シテ、東亞ヲ解放シ、保衛シ、建設セシメガ爲メニ、國運ヲ賭シテ勇戰奮闘シツツアリマス。東亞ハ東亞人ノ郷土デアリマス。コノ一戰ハ郷土防衛ノ戰デアリマス。東亞ガ果シテ米英ノ桎梏ヨリ解放セラレ得ルカ、或ハ又再ビ英米ノ植民地トナツテ、壓制ト搾取ノ下ニ、永遠ニ呻吟スルニ至ルカ、ソレハ懸ツテ此ノ一戰ノ歸趨ニアルノデアリマス。此ノ一戰コソハ帝國死活ノ戰爭デアルト共ニ、實ニ東亞ノ獨立戰爭デアリ而シテ獨リ「アジア」解放ノ爲メノ戰爭タルニ止マラズ、世界正義ヲ顯揚スル大戰爭デアリマス。米英ノ世界支配ノ野望ヲ破碎シ、公正ナル永久平和ヲ招來センコトヲ期シ、日獨兩國ハ東西ニ於テ、善謀勇戰シテ、光輝アル戰果ヲ擧ゲツツアツテ、敵側焦慮ノ色歷然タルモノガアリマス。日獨兩國ガ歐亞ニ於ケル與國ト共ニ、必勝ノ信念ニ徹シ、戰ヒ拔

三三

クナラバ、終局ノ勝利ノ我等ニ歸スベキコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス。

三四

九、日泰同盟條約二周年記念祝宴ニ於ケル挨拶（一八・二・二一）

大使閣下、並各位

茲ニ日本國泰國同盟條約締結二周年ヲ迎フルニ當リ、盟邦泰國大使閣下ノ御光臨ヲ得マシテ、祝宴ヲ設クルハ主催者側ノ最モ欣幸トスル所デアリマス。
二年前帝國ガ東亞保衛ノ爲メ、米英ニ對シ自衛ノ戰爭ニ突入ヲ餘儀ナクセラレマスルヤ、友邦泰國ハ直チニ帝國ト同盟條約ヲ締結シ、東亞解放保衛ノ聖戰ニ參加セラレタノデアリマス。泰國ハ英米ノ侵略勢力ヨリ解放セラレ、東亞建設ノ爲邁進セラレタノデアリマシテ、本年八月ニ至ツテハ多年英國ノ略奪ニ係ル「マライ」及「ジャン」地方ヲモ遂ニ恢復スルコトガ出來タ次第デアリマス。
帝國ハ東亞ニ於ケル各國トノ間ニ於テ、善隣友好ノ關係ヲ進メルノガ根本政策デアアルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、日泰同盟條約ニ次デ其後本年八月一日ノ日緬同盟條約、十月十四日ノ日比同盟條約、十月三十日ノ日華同盟條約等ハ何レモ此趣旨ヲ具現化セルモノデアリマシテ、相互ノ獨立及主權ノ尊重ヲ基礎トシ、即チ政治ニハ平等ニ、經濟的ニハ互惠ノ觀念ノ下ニ東亞復興及建設ノ爲メ、協力援助スベキモノトスルノデアリ、斯クシテ善隣友好ノ親和關係ガ益々發達スルト共ニ、之ヲ押し廣メテ以テ世界平和ノ基礎タラシムベキコトハ、已ニ過日大東亞各國ニ依ツテ採擇セラレタル大東亞宣言ニ

モ明カニセラレタ所デアリマス。既ニ日泰同盟條約コソハ大東亞建設ノ先驅的役割ヲ果シタ重要ナル歴史的文書デアアルト言ハナケレバナリマセヌ。

泰國ハ已ニ國ヲ成スコト古ク、日泰兩國關係ハ永キ傳統ヲ有シ、而シテ兩國共ニ東亞ニ存在スルノデアリマスガ、是迄不幸ニシテ天ノ命ズル自然ノ親密ヲ永ク妨グラレテ居タノハ如何ナル理由デアリマスカ。之ハ全ク亞細亞ノ地域ガ全然之ニ關係ナキ他人ノ地位ニ在ル第三者ニヨリテ侵略セラレ、蹂躪セラレテ居ツタガ爲メニ外ナラヌノデアリマス。亞細亞ハ覺醒シ、東亞ハ東亞ニ復歸シツツアリマス敵ガ如何ニ謀略宣傳ヲ恣ニシ其ノ得意トスル威嚇ト離間トノ術策ヲ弄シ様トモ、東亞ノ結束ハ之ニ依ツテ紊サルコトアリ得ナイノデアリマス。東亞保衛ノ決意ハ金鐵ノ如ク、我皇軍ノ嚴然タル威武ハ如何ナル敵ノ攻撃ヲモ粉碎スルニ足ルモノデアリマス。東亞侵略搾取ニヨル世界制覇ヲ目論ム米英ノ野望ニ對シ、我郷土東亞ヲ保衛シ、共存共榮ノ天地ヲ建設シ、世界ノ進運ニ貢獻セントスルハ我々共通ノ戰爭目的デアツテ、正義ハ必ズヤ吾人ノ決意ト實力トニヨツテ達セラレベキヲ疑ヒマセヌ。
茲ニ盟邦泰國ノ隆盛ノ爲メ、併セテ大東亞戰爭完遂ノ爲杯ヲ舉ゲタイト思ヒマス。

一〇、昭和十九年年頭ノ辭（一九・一・一）

茲ニ大東亞戰爭ノ真中ニ、光輝アル皇紀二千六百年ノ新春ヲ迎ヘ、肇國以來未曾有ノ國難ニ處スル帝國外交ヲ擔當スル者ノ責愈々重且大ナルヲ痛感スルノデアアル。

三五

三六

願ミルニ大東亞戰爭ノ第一年度ハ、大東亞ニ於ケル凡ユル敵ノ軍事據點ヲ覆滅シ、米英ノ侵略的勢力ヲ大東亞ヨリ一掃シ、軍事的ニ大東亞ヲ米英ノ手ヨリ解放セル年デアツタ。第二年度ハ緒戦ニ於テ連戦連敗セル敵米英ガ、ヤウヤク敗戦ノ陣營ヲ立テ直シ、ソノ豊富ナル資源ト強大ナル生産力ヲ恃ンデ、再侵略ヲ企圖シ、太平洋ノ各方面ニ於テ、マタ、「ビルマ」ニ於テ、我ニ對シ執拗ナル反撃作戰ニ出テ來ツタ年デアツタ。ソシテ此年ハ又大東亞ニ於テ、中國ノ參戰、在支租界及居留地ノ返還ヲ始メトシテ、「ビルマ」及ビ「フィリピン」ノ獨立ノ達成、「インドネシア」人ノ政治參與、自由印度假政府ノ成立ト帝國其他ノ諸國ニ依ル其ノ承認、日華新同盟條約ノ成立、大東亞會議ノ開催ト同會議ニ於ケル大東亞宣言ノ採擇等所謂對支政策、大東亞建設ガ一步一步堅實ナル進展振ヲ示シタ年デアツタ。

來ルベキ第三年度ハ敵米英ガ一層ノ熾烈サヲ以テ、東亞再侵略ノ非望ヲ無理野理ニ成就セントスルニ對シ、帝國ハ大東亞宣言ニ依リ世界ニ顯示セル道義ニ基ク世界平和ノ實現ニ邁進シ、互惠ト平等ノ基礎ノ上ニ大東亞ノ各國家、各民族ト愈々堅ク提携シ、我等ノ郷土タル「大東亞」ヲ防衛スベク總力ヲ舉ゲテ米英ノ反攻ヲ擊碎スベキ年デアアル。

抑々大東亞宣言ノ五原則ハ世界ノ萬邦ガ夫々其ノ所ヲ得ルニ至リ、億兆ヲシテソノ途ニ安ゼシメントスル我ガ堅固ノ大理想ニ發スル帝國ノ世界政策ノ顯現デアアルガ、其ノ基調ヲナス觀念ハ左ノ五點ニ在ル。

第一ノ點ハ亞細亞ハ今後「アングロサクソン」ノ植民地乃至半植民地タルベカラザルトイフ觀念デアアル。亞細亞ハ亞細亞人ニ復歸セラレ、永久ニ他國ニ依ル搾取、壓制ヨリ解放セラレベシトナスノデアアル。元來西歐諸國ガ數世紀以來亞細亞ヲ侵略シ、搾取シ得タノハ、單ニ此等ノ諸國ガ亞細亞ノ諸民族

ニ比シ、物質文明ニ於テ一步ノ長アリシガ故デアツテ、ソレ以外ニ何等ノ理由モナイノデアアル。精神文明ニ於テ或ハ又民族的發展ノ歴史ニ於テ、亞細亞ハ勝ルトモ斷ジテ西歐ニ劣ツテ居ナイノデアアルガ、不幸ニシテ、亞細亞ノ諸民族ガ僞安ノ夢ニ耽ケリ、世界ノ進運ニ眼ヲ閉ヂテ居ル間ニ亞細亞ハ西歐諸國ノ爲ニ分割セラレ、支配セラレルニ至ツタ。亞細亞ノ輝カシキ傳統ハ無視セラレ、文化的、創造的精神ハ全ク抑壓セラレ、亞細亞人ハ矜持ト名譽ヲ失ハシメタノデアツタ。最近ニ於テ亞細亞ノ存在スラガ危殆ニ瀕スルニ至ツタ時敢然米英ノ勢力ヲ一掃シ、新亞細亞ヲ再建セント立ツタノガ即チ大東亞戰爭ノ真意義デアアル。帝國ガ日華間ノ凡ユル不平等條約ヲ廢止シ、進ンデ平和状態ノ回復セル曉ニ於ケル全面的撤兵スラ承諾セルハ前記ノ大東亞戰爭ノ真意義ヲ具現セルモノデアアル。「ビルマ」及ビ「フィリピン」ノ獨立、或ハ自由印度假政府ノ承認、「インドネシア」人ノ政治參與ハ何レモ同様ノ理念ニ出ツルモノデアアル。全亞細亞ノ解放ノ完成ニハ前途尙遠イケレドモ、大東亞戰爭ガ亞細亞解放ノ聖戰ナル事ハ既ニ何人モ疑ヒ得ザルニ至ツタノデアアル。

第二ハ建設ノ觀念デアアル。亞細亞ガ解放セラレタル曉ニ於テハ、亞細亞ハ再ビ立チ上リ新亞細亞ヲ建設スベキデアアルトナスノデアアル。ソノ爲ニハ東亞各國家ノ自主ト獨立ハ相互ニ尊重セラレネバナラヌ。而シテ各國家間ノ關係ハ政治的ニハ平等、經濟的ニハ互惠デアアリ、斯クシテ所謂善隣友好ノ國際關係ガ樹立セラレルノデアアル。

第三ノ觀念ハ解放セラレタル地域ヲ外部カラノ再侵略ト再搾取ヨリ防衛スベシトナスニアアル。東亞ノ防衛ハ郷土ノ防衛デアアリ、又亞細亞文化ノ保衛デアアル。大東亞宣言ガ東亞ノ傳統ト尊重ト文化ノ進展ヲ強調シタ所以ハ實ニ茲ニ存スル。

我が外交政策ノ基本ガ萬邦各々其ノ所ヲ得ル様ニスルニ在ルハ茲ニ述ベル迄モ無イ。大東亞宣言モ亦實ニ肇國以來ノ右大國是ニ發スル事ハ疑ニ述ベタ通りデアリ、帝國ノ理想ハ世界ノ全テノ國家、民族ト共存共榮ノ樂ヲ借ニスルニ在ル。然シ乍ラ、現實ノ問題トシテ、世界ハ政治的ニハ余リニ大キ過ギルノデアツテ、一足飛ビニ全世界ヲ包含スル共存共榮圈ヲ作ルノハ不可能事ニ歸スル。茲ニ大東亞共榮圈ノ意義ガ在ルノデアアル。從ツテ大東亞共榮圈ノ構想ハ寧ロ、實際的、政治的考慮ニ出ヅルモノデ、大東亞各國間ノ民族の近似、地理的の近接、文化的の類似等ニ基ク現實ノ政策デアリ、帝國ノ理想ニ所デハナイ。世界ハ斷ジテ特定ノ一民族例ヘバ「アングロサクソン」ノ如キ一ノ獨占の支配下ニ置カルベキデハナイ。此レニ代ルベキ唯一ノ實際的の方策ハ、民族的ニ、文化的ニ、又地理的ニ近接セル諸國家、諸民族ガ一團トナツテ互助ト共榮ノ關係ヲ樹立スルニ在ル。此ノ意味ニ於テ現代ハ地域の時代ト呼ブ事ガ出來ヤツ。

三八

第四ノ觀念ハ、經濟及文化ノ方面ニ於テハ自由ト開放ノ原則ガ廣ク行ハルベシトナスニ在ル。從ツテ吾人ハ資源ノ開放、通商交易ノ自由、文化的交流ノ促進ヲ主張スルノデアアル。第五ノ觀念ハ全世界ニ亘リ、平等ト互惠カ國際關係ヲ律スル原則タルベシトナスニ在ル。大東亞諸國間ノミナラズ、世界ノ全テノ地域ニ於テ、國ノ大小、強弱ヲ問ハズ此ノ二大原則ガ國家間ヲ律スベキモノトナスノデアアル。同様ニ民族ノ平等ヲ要求スルノデアアル。米英ニ於ケル人種の偏見ノ事例ハ實ニ枚擧ノ暇ガ無イ。就中、白種主義、南阿ニ於ケル有色人ノ排斥、米國ニ於ケル數多ノ有色人移民排斥問題及ビ黑人私刑等ハ此ノ顯著ナル事例デアアルガ、此等ハ何レモ人類文明ノ汚點デアアルノミナラズ、重大ナル政治問題ヲ構成スルモノデアアル。人種の差別ノ撤廢無クシテハ亞細亞ノ解放ハ無ク、又世界

ノ平和モ無イノデアアル。

大東亞宣言ノ意義ハ以上ノ通りデアアルガ、然ラバ敵米英ハ如何ニ考ヘテ居ルデアラウカ。抑々、今次ノ世界大戰ハ米英ノ帝國主義ガ世界人類ニ挑戰セル最大ノ帝國主義的戰爭デアツテ、特ニ米國ハ南北兩米大陸ヲ金縛リトシテ、其ノ勢力下ニ收メテ尙飽足ラズ、大西洋ヲ隔テ、歐洲大陸ニ干渉シ、更ニ太平洋ヲ越ヘテ、亞細亞ヲ併吞セントシ、之ガ障礙タル、亞細亞ノ雄邦トシテノ帝國ノ存立ヲ否認セントセル所ニ、大東亞戰爭ノ真因ガ在ツタ事ハ、開戦前後ヨリ屢次指摘セラレタノデアアルガ、最近「ルーズヴェルト」「チャーチル」、蔣ガ「カイロ」ニ會シ、公表セル所ニ依ツテ今ヤ、一點ノ疑ヲ容レザルニ至ツタノデアアル。

今次ノ世界大戰ハ武力戰デアルト共ニ、思想戰デアアル。凡ソ思想戰ハ世界觀ノ戰ヒデアリ、戰爭目的ニ對スル主義、主張ノ抗爭デアアルガ萬邦ノ互助、敦睦ヲ基調トスル世界恒久平和ノ樹立ヲ理念トスル我が道義的世界觀ト、亞細亞ノ解放ト保衛ヲ意圖スル崇高ナル、我が戰爭目的トテ、利己の野望ノ達成、世界就中、亞細亞ノ永久の隸屬化ヲ目標トスル侵略以外ニ何物モ無イ、米英ノ戰爭目的ニ比スレバ、其ノ相違ハ極メテ明白デアリ、思想戰ニ於テ何レガ勝利ヲ收ムベキヤハ問ハズシテ明デアアル。米英ガ其ノ戰爭目的ノ規範トセル大西洋憲章ハ冒頭ニ領土不變更ノ原則ヲ掲ゲ、米英支配ニ基ク現狀維持ト宣言シタル以外ニ、世界ニ於ケル、不公正、不正義ヲ是正シテ、戰爭ノ根因ヲ絶タントスル主張ヲ缺イテ居リ、又世界人類ノ福祉ヲ増進スル積極的の方策モ全然示シテ居ラズ消極的ニモ積極的ニモ世界平和ノ樹立ニ寄與スベキ何等ノ建設的綱領ヲモ含ンデ居ラヌノデアアル。而モ、此ノ原則スラ、其後事態ノ進展ニ伴ヒ、彼等自ラノ手ニ依ツテ弊履ノ如ク捨テ去ラレツツアル。

三九

最近敵ノ主腦者ハ、シキリニ會合シ、其都度決議或ハ宣言ヲ公表シテ居ルガ、何レヲ見ルモ勝者ト敗者ヲ對立セシメ、戰勝國ガ戰敗國ニ強制スベキ、和平條件ヲ述ブルニ止リ、建設的、理想的ナルモノハ全ク無視サレテ居ルノデアル。又米英ニ於テ屢次、公ニセラレテ居ル戰後計畫案ナルモノモ、全テ戰勝ヲ僞裝セル、荒唐無稽ナル宣傳ニ過ギズ、之ニ依ツテ其ノ侵略的、帝國主義眞意ヲ隱蔽セントシテ居ル模様デアアルガ、隠スヨリ現ルルハ無シノ古語ノ通り偶々「カイロ」宣言及ビ十一月二十五日ノ「スマツ」將軍ノ演說等ハ、全世界ヲ悉ク自己ノ獨占的支配下ニ置キ、特ニ亞細亞ニ於テハ、過去數世紀間ニ亘ツテ、行ヒ來ツタ、壓制ト搾取トヲ、永遠ニ繼續セントスル、米英ノ本心ヲ露シナク露呈シテ居ルノデアル。

四〇

凡ソ侵略ノ戰爭ニシテ、勝利ヲ得タルモノハ古來ヨリ例ガ無イノデアアツテ、阿片戰爭ハ唯一ノ例外ト言ヘル。來ルベキ大東亞戰爭第三年度ニ於ケル、米英ノ反攻ガ如何ニ激烈ヲ極メ、又其ノ思想戰ガ如何ニ深刻デアラウトモ、御稜威ノ下、我ガ精銳ナル皇軍將士ハ、陸ニ、海ニ、空ニ敵ヲ破摧、我ガ公正ナル道義ハ米英ノ謀略ヲ壊滅シ去リ、大東亞ノ解放ヲ完成シ、郷土ノ防衛ヲ完ウスベキ事ハ何等疑ヲ容レヌ次第デアアル。

一一、年頭ニ際シ在外同胞ニ對スル放送演說 (一九二二)

昭和十九年ノ新春ヲ迎フルニ當リマシテ遠ク敵國ニ在留セラルル同胞諸君ニ對シ新年ノ御慶ビヲ申上

ゲマス。

大東亞戰爭モ茲ニ第三年目トナリマシテ、米英ノ東亞方面ニ於ケル全力ヲ擧ゲタル反攻ハ日ト共ニ熾烈トナツテ參リマシタガ、敵側ハ漸ク我ガ東亞防衛陣ノ外廓ノ一部ニ取付イタバカリデアリマシテ、我ガ鐵ノ如キ堅イ防衛陣ハ之ガ爲ニ些カモ動搖ヲ見セテ居ナイノデアリマス。却テ敵側ノ人及物ノ損害ガ日々増加スル一方デアリマス。

今日東亞建設ノ大業ハ着々ト進メラレテ居リマシテ、暹ニ「ビルマ」國、「フィリッピン」國ノ獨立アリ更ニ引續イテ行ハレマシタ大東亞會議ニ依リマシテ、東亞解放ノ確乎タル基礎ガ打樹テラレマシタ。今ヤ東亞諸民族ハ、永年ノ要望ヲ達シテ外國ノ植民地若ハ半植民地的地位ヲ脱シ、各々其ノ立場ヲ堅持シ、共同ノ目的ニ向ツテ一致團結以テ再ビ東亞ヲ米英ノ植民地タラシメザランガ爲メ、之ガ防衛ノ聖戰ヲ勝拔カント日夜奮勵努力シテ居ル次第デアリマス。敵ガ懸軍萬里從事シテ居ル植民地戰爭ニ對シ我郷土ヲ衛リ通サウトスル此ノ戰ガ必ズ勝利ニ歸スルコトハ疑ヲ容レマセヌ。斯ノ聖戰ニ當リ、遠ク敵國ニ殘留セラレ凡ユル困難、凡ユル壓迫ニモ屈セズ我ガ大和民族ノ誇リヲ高ク堅持シテ居ラレ同胞諸君ニ對シ私ハ心カラナル同情ト尊敬ノ念ヲ禁ジ得ナイノデアリマス。

大東亞戰爭勃發後海外ニ在留スル數十萬ノ同胞諸君ノ安否ハ政府當局ハ勿論母國上下ノ念頭ヲ離レヌ所デアリマシテ、政府ハ諸君ノ苦痛ヲ些デモ緩和スル爲、利益代表國其ノ他ヲ通ジマシテ種々努力致シテ來タ次第デアリマシテ、今後モ之ガ爲ニ一層力ヲ盡シタイト存ジテ居ル次第デアリマス。

前述ノ通り、今次ノ戰爭ハ敵ニトリテハ單ナル植民地戰デアリマスガ、我ガ帝國ニトリ又全東亞民族ニトリテハ其ノ興亡ヲ決スル大戰爭デアリマス。從ツテ母國ノモノハ國運ヲ賭シテ此戰爭ヲ闘ヒ抜ク

四一

覺悟デアリマス。海外在留同胞諸君ニ於カレマシテモ、前線ニ日夜奮戦スル我ガ忠勇ナル將兵ノ心ヲ
心トシテ、如何ナル困難ニ出會フトモ之ニ屈セズ、不撓ノ精神ヲ以テ我ガ大和民族ノ海外ニ於ケル第
一戰ヲ守リ拔カレンコトヲ希望スルモノデアリマス。我々日本國民ハ地球上ノ何處ノ地點ニ在ラウト
モ、如何ナル境遇ニアラウトモ二千六百有餘年ノ光輝アル歴史ヲ守リ、帝國悠久ノ大使命達成ノ爲各
々其ノ微力ヲ盡サネバナラスノデアリマス。
在外同胞諸子ノ今日ノ勞苦ハ、雖テ戰勝ノ曉ニハ必ず報ゼラルトキガ來ルノデアリマシテ、諸君ニ於テ
モ來ルベキ日ノ大發展ヲ期シ、各般ノ準備ヲ怠ルコトナク、飽ク迄自愛セラレンコトヲ切望スル次第
デアリマス。

四二

一一、第八四帝國議會本會議ニ於ケル演說 (一九・一・二二)

不肖昨年四月岡ラズモ帝國ノ外政擔當ノ重任ヲ拜シ、本日茲ニ帝國政府ノ外交方針ニツキ所見ヲ開陳
スルノ機會ヲ得マシタコトハ、私ノ最モ光榮トスル所デアリマス。
戰局ハ御承知ノ通り益々深刻トナリ、米英ハ昨年來ノ反攻ニ依ツテ漸ク東西樞軸防衛ノ外郭ニ接觸ス
ルニ至リマシタ。彼等ハコノ上自方ノミヲ以テ進攻スルノ困難ナルヲ感ジ、如何ナル犠牲ヲ拂ツテモ
必要ナル他國ノカヲ糖ラントスルニ至リ、之ガ爲メ大東亞會議ト前後シテ「モスコ」ニ相會シ更ニ
「カイロ」及ビ「テヘラン」ニ到ツテ協議シタノデアリマス。彼等ハ茲ニ西、歐洲大要塞ニ對シ又東、帝

國ニ對シテ速ニ總反擊ニ出ヅルコトニ決シタ模様デアリマス。之ガ本年ニ於ケル彼等ノ企圖デアリマ
ス。

米英首腦部ハ昨年十一月下旬重慶側ヲモ加ヘテ「カイロ」會議ヲ開キ、帝國ニ對シ假借ナク攻撃ヲ加ヘ
無條件降伏ヲ強要スベシト稱シ、本土以外ノ帝國領域ハ悉ク之ヲ奪取シテ、或ハ自己ノ領土トシ或ハ
之ヲ支那ニ分テ與フベシト約シ、重慶政權ノ離脱ヲ防止セント致シタノデアリマス。彼等ハ已ニ全力
ヲ擧ゲテ對日總反攻ヲ實行シツツアリト聲明シタノデアリマスガ、今日迄獲得シタモノハ我前哨線ニ
散在スル數個ノ島嶼ニ過ギズ、之ガ代價トシテ支拂ツタモノハ海底ニ葬ムリ去ラレタル多數ノ艦船並
ニ數十萬ノ兵員デアリマス。而モ米國民ハ何ノ爲メニ米國ノ安全トハ何等關係ノナイ東亞ノ僻地ニ於
テ戰ツテ居ルノデアルカ、又戰ハネバナラスノカラ了解スルニ苦ンデ居ル様子デアリマス。
米國大統領ハソノ政策タル「ニュー・デール」ナルモノガ國內的ニ行キ詰ルヤ、之ガ打開ヲ外ニ求メン
トシテ旺ニ戰爭ヲ煽リ、國民ノ視聽ヲ強ヒテ國外ニ轉ジ、今ニモ米大陸ガ外敵ニ依リ襲撃侵略セラ
ルルガ如クニ宣傳シタノデアリマス。米國ノ挑發サヘナカツタナラバ、今次戰爭ハ起ラズシテ濟ンダ
筈デアリマス。米大陸ノ安全ヲ脅威スルモノ何處ニモナク米國民ハ平和ヲ享樂シ得タルベキニ拘ラズ
不測ノ冒險ニ追ヒ入レラレ、不必要ニシテ高價ナル犠牲ニ甘ゼシメラレテ居ル次第デアリマス。而シ
テ彼ハ恰モ世界ノ管理者デアリ東亞ノ支配者デアアルガ如キ行動ニ出デ、歐洲戰爭ヲ挑發シタル上、擅
ニ東亞ニ介入シ來リ、遂ニ帝國ニ對シテ所謂「經濟的制裁」ヲ加ヘ、進ンデ「經濟戰爭」ノ手段ニ訴
ヘタノデアリマス。太平洋戰爭ガ眞珠灣以前ニ已ニ米國ニ依ツテ開始セラレテ居タコトハ、現ニ米國
政府自身ニ依リ發表セラレタ多クノ文書ニ依ツテモ明白ナ所デアリマス。斯ノ如クシテ米國ハ植民地

四三

的戰爭ニ乘リ出シタノデアリマシテ、米國ノ戰爭ハ要スルニ政略的戰爭デアリマス。蓋シ右ハ米國ガ全世界ニ互リ英國ニ代リテ世界制覇ノ基礎ヲ固メントシツツアル點ヨリ見テモ明ナル事實デアリマス。

四四

米英ハ單ニ與國ヲ驅使セントスルノミナラズ、有ユル策略ト威壓トヲ弄シテ中立國ヲ戰爭ニ引入レ、戰禍ノ擴大ヲ懼ラズ恣ニ之ヲ利用セントシテ居リマス。土耳其其他ニ對スル壓迫ハ國際道義ヲ蹂躪セルモノデ一般ノ憤懣ヲ招イテ居ル所デアリマスガ、土耳其ノ態度ニハ變化ナク、同様な脅迫ヲ蒙ツタ南米「アルゼンチン」ハ猶毅然タル態度ニ出デ居ル次第デアリマス。

米英ノ東西ニ於ケル反攻ハ斯クシテ鳴物入りデ開始セラレタノデアリマスガ、勝利ハ單ニ宣傳ヤ欺瞞ニ依ツテ得ラルルモノデアリマセヌ。東西樞軸ノ堅陣ハ嚴トシ微動ダモ致シテ居ラヌノデアリマス。

歐洲要塞ニ於キマシテハ、獨逸軍ハ必要ニ應ジ前線ノ整理ヲ行ヒ、磐石ノ堅陣ト萬全ノ準備トヲ以テ敵ヲ邀撃セント期シテ居ルデアリマス。過去ニ於テ苦キ經驗ヲ有スル獨逸國民ガ、「ヒトラー」總統統率ノ下ニ一致協力シテ未曾有ノ試練ニ應ヘ、確固タル自信ヲ示シ、終局ノ勝利ニ向ツテ邁進シツツアル狀況ハ實ニ世界史上ノ壯觀ト言ハネバナリマセヌ。斯クテ獨逸軍ハ戰勢ヲ轉換シテ攻勢ヲ捉ヘントシ、獨逸國民ハ烈シキ空襲ノ下ニ不屈ノ精神ヲ以テ勝利ヲ確信シ敢闘ヲ續ケテ居ルデアリマシテ、コレハ敵側スラモ承認セザルヲ得ナイ事實デアリマス。帝國政府ハ常時獨逸政府ト緊密ナル連絡ヲ保チ軍事上ハ勿論各般ノ問題ニ付テ有ユル協力ヲ遂ゲツツアル次第デアリマス。

新伊太利ハ「ムソリーニ」統帥指導ノ下ニ樞軸ノ一環トシテ再ビ力強ク立テ上リツツアリ、帝國及獨逸

トノ共同戦線ニ於テ伊太利ガ光輝アル將來ヲ拓クコトハ期シテ待ツベキデアリマス。過般伊太利政變後敵側ハ頻リニ和平ノ宣傳ヲ行ヒ、樞軸國ヲ動搖セシメント策動シタノデアリマスガ、之ハ彼等ノ當套的手段デアアルノミナラズ、彼等ノ國內不安及戰爭早期終結ノ要望ヲ反映シテ居ルデアリマシテ、畢竟スルニ彼等ノ焦燥感ヲ示ス以外ノ何物デモナイデアリマス。歐洲ニ於ケル樞軸與國ハ敵側ノ宣傳ニモ拘ラズ、確固不動共同戰爭ヲ完遂セントシツツアルデアリマス。

太平洋方面ニ於ケル敵ノ熾烈ナル反攻ニ對シ、我東亞保衛ノ堅陣ハ些カモ搖イデ居リマセヌ。之ハ申ス迄モナク、御稜威ノ下皇軍ノ勇戰奮闘ノ賜デアリマシテ、全國民ノ感激措ク能ハザル所デアリマス。私ハ茲ニ我が忠勇ナル陸海將兵ノ武運長久ヲ切ニ祈ルト共ニ殉國ノ英靈ニ對シ謹ンデ敬弔ノ意ヲ表スルモノデアリマス。米英ノ恃ム所ハ主トシテ物質力デアリマス。現代戰爭ニ於テ物質力ノ重要ナルコトハ否定出來マセヌ。然シ乍ラ勝敗ハ單ニ物質力ノ優劣ニ依ツテ定マルモノデアリマセヌ。物質力ノ點カラ觀テモ幾多ノ弱點ガアルノデアツテ、人的資源ニ於テハ少カラズ脆弱點ヲ有スルコトハ見逃シ難イノミナラズ、地ノ利ハ寧ロ我ニ在ルノデアリマス。而モ國民戰意ノ點ニ至ツテハ彼ハ到底我が敵デハナイデアリマス。蓋シ我が必勝ノ信念ハ數ニアラズ、又量ニアラズ、將又地ノ利ニモアラズシテ、實ニ人ノ和ニアルノデアリマス。我が國民ノ當面スルノハ共ニ活クルカ共ニ死スルカノ問題デアリマス。吾人ヲ促スモノハ過去ニ於テ幾多國難ヲ克服シタ祖先ノ偉業ヲ順ミ、皇國ノ偉大ナル將來ヲ確保セント期スル敢闘ノ精神デアリマス。皇國ノ光輝アル將來ハ一億敢闘ニ依ツテ必ズ招來セラルルノデアリマス。

御稜威ノ下前線ニ於ケル皇軍ノ勇戰ト統後戰線ニ於ケル國民總員ノ奮起トニ依リ最後ノ勝利ノ我ニア

四五



ルベキコトハ毫モ疑ヲ挟ム餘地ガナイノデアリマスガ、此ノ必勝ノ信念ハ今次ノ戦争ガ我ニトツテハ帝國存立ノ戰デアリ東亞ニトツテハ興隆ノ懸ル聖戰デアル所ヨリ生ズルデアリマス。

歐洲ニ於テ獨逸ガ大國トシテ其ノ實力ヲ伸張スルコトハ、東洋ニ於テ日本ガ大國ノ實力ヲ具備スルコトト共ニ、米英ノ終始阻止セント欲スル所デアリマシテ、コレ即チ歐洲ニ於テ「勢力均衡政策」ナルモノヲ實施シ、支那ニ於テ「門戶開放、機會均等主義」ノ形ニ於テ半殖民地政策ヲ運用シタ所以デアリマス。數個ノ勢力ヲシテ相互ニ衝突牽制セシメ、ソノ間ニ、全世界ニ亘リ事實上ノ支配權ヲ設定スルノガ彼等ノ根本政策デアリマシテ、之ガ所謂過去ニ於ケル「英國流ノ平和態勢」デアリ、現在企圖サレテ居ル「米國流ノ平和態勢」ナノデアリマス。

日本ト支那トガ提携協力シテ東亞ノ安定ヲ保チ繁榮ヲ圖ルコトハ、彼等ヨリ之ヲ觀レバ東亞ノ復興デアリ、彼等ノ退却ヲ意味スルノデアリマス。彼等ハ過去ニ於テ帝國ヲ利用シテ支那ヲ抑制シ、帝政「ロシア」ノ進出阻止ノ政策ニ出デ、帝國ガ強大ナルニ及ビ我ヲ控制センガ爲メニ支那ヲ拉シ來ツテ利用スルノ政策ヲ執ルニ至リマシタ。之ガ東亞禍亂ノ重要ナル背景ヲナスモノデアリマシテ、即チ分割シテ支配スルコトハ彼等ノ傳統的政策ナノデアリマス。

米國大統領ノ最近ノ演說ニ徴スルモ、米英ハ實ニ帝國ノ抹殺ヲ企圖スルモノデアリマシテ、此ノ戦争ガ我祖國ノ興廢ヲ賭スル防衛ノ圍争ナル所以デアリマス。吾人ニシテ半途挫折スルガ如キコトアラシカ、單リ帝國ノ存在ガ永久ニ否認セラルルノミナラズ、東亞モ舊態ニ復セシメラレ、自主獨立ヲ完フスベキ機會ハ永遠ニ失ハレルノデアリマス。實ニ今次戦争ハ樞軸諸國ニトツテハ眞ニ自存自衛ノ戦争デアリ、「アジア」ニトツテハ自主獨立ノ戦争デアリマス。帝國ハ悠久三千年ノ光輝アル歴史ヲ有シ、

帝國ガ世界ノ雄邦トシテ「アジア」解放、東亞復興ノ大業ニ挺身シツアルノハ正ニ天與ノ使命デアリマス。帝國ハ志ヲ同フスル東亞ノ各國各民族ト相協力シテ、米英ノ非道ナル企圖ヲ斷乎粉碎セントスルモノデアリマス。

今次大戦ハ正ニ世界ノ大變動デアリマス。英國ノ世界帝國維持ヲ目的トスル對獨挑戰ニ始マツタ戦争ハ、獨逸戦争ニ依ツテソノ様相愈々深刻ヲ加ヘ、右ハ「テヘラン」會議以後ノ世界情勢ニ遺憾ナク反映サレテ居ルノデアリマス。更ニ又大東亞戰爭勃發ニ依ツテ「アジア」解放、東亞復興ノ重大ナル意義ガ現實ニ加ハツタノデアリマス。「アジア」ガ米英ノ植民地若ハ半植民地タル時代ハ既ニ去リマシタ。「アジア」ヲ救フモノハ「アジア」人以外ニハアリ得ナイノデアリマス。

米英ノ支配勢力ガ殘存スル限り、東亞ノ安定ハ到底望ミ難ク、禍亂ハ永久ニ絶エマセス。攪亂勢力ガ驅逐セラレテ茲ニ初メテ東亞ハ其ノ本然ノ姿ニ復歸シ得ルノデアリマス。過去ニ於テ日支兩國間ニ幾多ノ悲シムベキ紛争ヲ見タル後、今日兩國ノ關係ガ永久ニ安定スル基礎ヲ見出シタノモ全ク外來ノ支配的勢力ガ一掃セラレタルコトニ起因スル次第デアリマス。支那ガ戦争ニ參加シ日支兩國間ニ基礎關係ガ設定セラレテ既ニ一年餘、ソノ間我政策ハ着々進歩ヲ見テ昨年十月同盟條約ノ締結ヲ見、兩國々交永遠ノ基調ハ明定セラレ、根本的友好關係ハ茲ニ確固不動ノモノトナツタノデアリマス。今ハ支那内部ニ於テ完全ナル和平状態ノ確立セラレコトガ期待セラレル譯デアリマスガ、帝國トシテハ終始一貫既定ノ政策ヲ徹底セシムベク努力ヲ致ス決意デアリマス。戦争ノ進行ト共ニ經濟問題等幾多ノ困難ノ伴フハ當然ノコトデアリマスガ、兩國ハ相共ニ携ヘテ如何ナル難關ヲモ突破スル覺悟ヲ以テ進ンデ居ルノデアリマス。



帝國ト一徳一心ノ關係ニアル滿洲國々絶大ナル協力ハ帝國ノ感謝措ク能ハザル所デアリ、又東亞ノ有力ナル一員タル泰國トハ既ニ開戦直後同盟關係ニ入り、共同戦線ニ立ツテ東亞復興ノ爲メ甚大ナル貢獻ヲ爲シツアルコトハ誠ニ欣快ノ至リデアリマス。東亞諸國代表ハ印度假政府首班ヲモ迎ヘ、昨年十一月初頭東京ニ於テ相會シ、各國共同ノ政策トシテ大東亞宣言ヲ發表シ、東亞建設ノ理想ト世界平和ノ基礎タルベキ大方針ヲ闡明致ス所ガアリマシタ。大東亞宣言ニ依ツテ表示セラルル諸原則ハ、歸スル所東亞ヲ解放シ保衛シ復興スルト共ニ、廣ク世界各國ト提携シテ恒久平和ノ確立ニ積極的ニ貢獻センコトヲ期スルモノデアリマスガ、之等ノ原則ハ戰時下自ラ各種ノ不便ガアルニ拘ラズ、關係各國ノ眞摯ナル協力ニ依リ着々實現セラレツツアル次第デアリマス。

今ヤ東亞ノ天地ニハ復興ノ氣運澎湃トシテ起リ、獨立ノ榮譽ヲ膺チ得タル「ビルマ」及「フィリピン」ハ新興ノ意氣ヲ以テ世界ノ進運ニ寄與センコトヲ期シ、大東亞宣言ノ精神ヲ實行ニ移シテ居ル次第デアリマス。又多年印度ノ宿望タル獨立モ自由印度假政府ノ成立ニ依ツテソノ礎石ガ置カレタノデアリマス。コノ東亞復興、「アジア」解放ノ目標コソハ實ニ吾人ニ對シ飽ク迄勝チ抜ク自信ヲ與フル所以デモアルノデアリマス。

帝國ノ堅持スル對外政策ハ廣ク國際間ニ友好善隣ノ關係ヲ發展セシメントスルニアリマシテ、大東亞宣言ノ原則第五ニ謂フ所ノ「萬邦トノ交誼ヲ篤クシ人種ノ差別ヲ撤廢シ普ク文化ヲ交流シ進んで資源ヲ開放シ以テ世界ノ進運ニ貢獻ス」ル趣旨モ亦茲ニ存スルノデアリマス。世界ノ共存共榮ノ觀念ハ閉鎖ニ非ズシテ開放ニ在リ、排他ニ非ズシテ協力は在ルノデアリマス。蓋シコノ國際親和ノ政策ヲ擴大推進スルコトハ世界ヲ禍亂ヨリ救済シ、破壊ヲ去ツテ建設ニ就ク大道ナルコトヲ確信致スノデアリマス。

帝國ハ右ノ方針ニ則リ特ニ隣接諸國トノ相互親善ノ關係ヲ増進スルト共ニ、更ニ進んで世界各國ニ對シ廣ク同一ノ方針ヲ以テ臨マントスルモノデアリマス。現在帝國ト中立關係ニ在ル遠近ノ諸國ニ對シテハ戰禍ノ擴大ヲ避クルハ勿論、益々交誼ヲ篤クセント努メテ居ルノデアリマス。就中日蘇兩國ノ關係ハ大東亞戰爭ノ勃發ニ依ツテモ、將又歐洲戰爭ノ進展ニ依ツテモ、何等影響ヲ蒙ル所ナク兩國間ノ中立關係ハ堅ク維持セラレテ居ル次第デアリマス。

敵米英ハ今日頻リニ總攻撃ヲ叫ビ歐亞ニ於ケル樞軸ノ墜陣ニ對シ攻勢ニ出デ、太平洋方面ニ於ケル反撃ハ日ヲ逐ツテ熾烈ヲ加ヘテ居ル狀況デアリマス。蓋シ本年ハ世界戦局ノ大勢ヲ決定スル重大ナル秋デアリマス。

依ツテ私ハ微力ヲ願ミズ 大御心ヲ體シ外政ノ運用ニ最善ノ努力ヲ致ス覺悟デアリマス。

一三、比島特派使節團歡迎宴ニ於ケル挨拶 (一九・四・二二)

大使閣下、閣下並ニ諸君

今回當地ニ到着セラレマシタ比律賓國答禮特派大使一行ヲ歡迎申上グル爲ニ、今夕歡迎晩餐會ヲ催シマシタル處、特派大使閣下初メ使節團御一同ノ御臨席ヲ辱クシマシタコトハ、主人側ノ最モ光榮トスル所デアリマシテ、使節團御一行ガ此ノ機會ニ於テ帝國朝野ノ代表的人物ト交歓セララルコトハ、最

モ有意義ニ存スル次第デアリマス。
 特派使節「ベニグノ・エセ・アキノ」氏ハ多年比律賓民衆ヲ率キテ獨立ノ爲ニ活躍セラレ、現ニ國民議會議長ノ重職ニアツテ比律賓國民ヲ代表セラレテ居ル次第デアリマシテ、同議長ハ過般モ帝國ヲ來訪セラレタコトガアリマスノデ、多數ノ知己ヲ有セラレ、今回特派使節トシテ帝都ヲ再ビ訪問セラレルトニ對シテハ、衷心ヨリ歓迎ノ意ヲ表スルモデアリマス。
 議長ト共ニ今回來朝サレタ名士ノ中、茲ニ御列席ノ「ホセ・ユ・ロー」大審院長ハ、法曹界ノ第一人トシテ、法學界ノ權威デアアルノミナラズ、比島ノ發達獨立ノ爲ニ各方面ニ盡力セラレテ居ルコトハ、周知ノ通りデアリ、大藏大臣「アントニオ・デ・ラス・アラス」氏ハ其ノ政治、經濟ニ亘ル深キ造詣ヲ以テ比島獨立ノ爲ニ邁進セラレツツアリ、更ニ農務大臣「ラファエル・エル・アルナン」氏ハ經濟方面ニ於ケル廣キ知識ヲ以テ比律賓國ノ建設ニ從事セラレ、又「カリバビ」事務總長「カミロ・オシアス」氏ハ多年ノ精神文化上ノ經驗ヲ以テ、比島獨立精神ノ昂揚ニ努力セラレテ居リマスコトハ、吾人ノ夙ニ承知シ推服措カザル所デアリマス。比島獨立ノ大事業ガ「ラウレル」大統領ノ獻身ノ指導ノ下、「バルガス」大使ハ固ヨリ今日茲ニ御迎ヘ致シマスル以上、如キ有力ナル志士ノ活躍ニ依リ、着々進展シツツアル狀況ヲ目ノ當リ見マシテ、此ノ大事業ガ必ズ有終ノ美ヲ成スベキコトヲ、同盟國ノ吾々ハ刮目シテ待ツテ居ル次第デアリマス。
 「天ハ自ら助クルモノヲ助ケ」ト云フ諺ガ東洋ニアリマス。此ノ東洋思想ノ真理ハ單ニ個人ノ生活ニ止マラズ、國家ノ生存ニ付テモ同様ニ當嵌マルコトハ歴史ノ示ス所デアリマス。東亞ハ東亞ニ依ツテ救ハルルノ外ハナイノデアリマス。

帝國ガ一世紀前ヨリ他國ノ壓迫ニ反抗シナガラ、自力ヲ培養シ、遂ニ今日ノ世界的地位ヲ築キ上テ、現ニ東亞復興ノ爲ニ力ヲ盡シテ居ルノモ、此ノ東洋思想ノ眞髓ヲ掴ミ、之ヲ實踐シテ居ルノニ所以スルノデアリマス。東亞ハ今ヤ覺醒シタノデアリマス。東亞自身ノ救済ハ歐米ニ依ツテ之ヲ求メ得ヌコトハ既ニ立證セラレマシタ。

英米ノ物質文明ハ單ナル自己主義ノ思想ニ立脚スルノデアリマシテ、自己以外ノモノハ自己ノ爲ニ之ヲ利用スル場合ノ外ニハ考慮ニ入レヌノデアリマス。彼等ガ「アジア」ヲ侵略シ、東亞ヲ搾取スルノモ、自己ノ爲ニ恣ニ他ヲ利用セントスルニ他ナラズ、之ニ依ツテ世界ヲ支配セント欲スルニ出デテ居ルノデアリマス。

東洋思想ハ精神文明ヲ生命トシ、「共ニ生キル」ト云フ共存ノ哲理ニソノ根據ヲ置クノデアリマス。從ツテ禮讓ト徳義トヲ根底トシテ、相互ニ他ノ立場ヲ尊重スルコトガ其ノ根義デアリマス。

東亞ニ於ケル各民族各國家ハ、今ヤ歴史のナル世界大變動ノ時期ニ遭遇シ、「アジア」解放、東亞復興ノ大事業ニ從事シテ居リマスガ、此ノ目的達成ノ途上ニ於キマシテ種々ノ困難ガ發生スルコトハ當然デアリマス。然シ、之等各民族、各國家ハ大東亞宣言ノ趣旨ニ依ツテ、協力、親和以テ共通ノ目的ヲ吾人ノ生レ故郷東亞共同ノ保全、繁榮及自主獨立ノ爲ニ致々トシテ努力シテ居ルノデアリマス。帝國ガ過去ニ於テ政治的ニ最モ苦心シタ問題ハ如何ニシテ日本精神ヲ昂揚シツツ、世界ノ文化ヲ吸收シ、消化シ、活用シテ近代國家トシテノ地歩ヲ築キ上グベキカト云フコトデアリマシタ。換言スレバ、他ノ文明ヲ採用シツツ日本固有ノ精神ヲ毀損セズ否、之ヲ如何ニシテ發展セシムルカ即チ自己ヲ忘レヌト云フ點デアツタノデアリマス。



帝國ハ三千年來幸ニシテ肇國ノ精神ヲ顯揚シツツ他ノ文明ヲ抱擁シテ來タノデアリマス。之ガ大和民族ノ長所デアルト共ニ、國礎ヲ築イタ根底デアリマス。

優秀ナル傳統ト悲慘ナル歴史ヲ有スル比律賓民族ハ今ヤ米國ノ壓制ヨリ解放セラレ、完全ニ東亞ニ復歸スルニ至リ、茲ニ東亞ノ一員トシテ輝キ將來ヲ開拓スルコトトナツタノデアリマス。

比律賓ハ其ノ民族ト云ヒ、地勢ト云ヒ、我ガ帝國ト多クノ點ニ於テ似通ツテ居ルト思ハレマス。此ノ比律賓ニ對シ帝國ガ過去ニ於テ踏破シ來ツタ道及努力ハ將來ノ比律賓建設ノ爲ニ聊カナリトモ參考ニナラウカト考ヘマス。

帝國ハ、今ヤ帝國自身ノミナラズ、全東亞ノ興隆ノ爲メニ戰爭ニ從事シテ居ルノデアリマス。東亞各國ハ東亞救済ノ爲メニ奮起スベキ時期ガ來マシタ。人種平等問題モ、獨立自主ノ問題モ將又經濟自由ノ問題モ、自ラ之ヲ圖ヒ取ルノ時期ガ東亞否、全亞細亞ニ訪レタノデアリマス。此ノ基礎的ノ國際正義ハ必ズ顯現セラレベキコトヲ疑ヒマセヌ。

今ヤ戰局ハ愈々重大トナリツツアリマスガ、帝國ハ絶大ナル自信ト決意トヲ以テ固ク必勝ヲ期シテ居ル次第デアリマス。前線ニ皇軍ノ勇戰奮闘アリ、銃後ニ上下一致ノ晝夜ヲ分タザル力闘アリ、今日帝國全國國民總和ノ努力ヲ精神の物質の各方面ニ亘ツテ充分觀察セラレルコトハ比律賓建設ノ大事業ニ貢獻セラレル所ガ妙カラザルベキコトヲ期待スルモノデアリマス。

終リニ當リマシテ、特派大使閣下及使節團員各位ノ御健康ヲ祈念シ無事御使命ヲ果サレマスコトヲ切望致シマス。

一四、緬甸國調查團歡迎宴ニ於ケル挨拶 (一九・五・二五)

本回緬甸國ヨリ特別調査團トシテ團長「バ・ハン」博士御一行御來朝ニ際シ、團長以下御一行ヲ御招キ致シマシタル處、御捕ヒ御出席下サレ又在京緬甸國大使「テ・モン」閣下モ特ニ館員ト共ニ御臨席ヲ賜リ且日本側ニ於テモ有力ナル方々ノ御出席ヲ辱フシ主人側ト致シマシテ誠ニ光榮ト存ズル次第デアリマス。團長「バ・ハン」氏ハ最近微恙ノ爲引籠リ居ラレタ御様子ニテ御同情申上ゲテ居マシタ處今日此處ニ御元氣ナ御様子ヲ拜見出來マシテ非常ニ嬉シク存ズル次第デアリマス。調査團御一行ヲ歡迎スルカノ様ニ今、帝都ニハ春ノ花ガ咲イテキルノデアリマスガ、本年ハ特ニ氣候不順、氣温ノ變化ガ激シイ様ニ感ジマスノデ、重要ナ御使命ヲ有セララル調査團御一行ニ於カレテハ充分健康ニ御留意ノ上、無事任務ヲ達成セラレンコトヲ祈ル次第デアリマス。承ハレバ調査團ノ御使命ハ新興緬甸國ノ建設ノ爲ノ各方面ニ互ル調査トノコトデアリ、其ノ御使命ノ重大ナルコトヲ拜察致シマス。

帝國ハ建國以來三千年ニ互ル永イ傳統ト經驗トヲ有ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ日本ガ國際場裡ニ乘リ出シ、列國ト伍シテ運命ヲ開拓シ、今日「アジア」解放、東亞復興ノ大事業ヲ實現スルニ到ツタ此ノ近代國家トシテノ日本ノ發展ノ歴史及經驗ハ調査團御一行ニトリ、御參考トナル點ガ多クアルカト考ヘラル次第デアリマス。此ノ帝國ノ發展ハ徒ラニ理想ヲ追ハズ、極メテ實際的ニ且ツ漸進的ニ努力ヲシタ結果デアツテ、飛躍的或ハ空想的ナ造リ方ハ一切避ケタ次第デアリマス。調査團御一行ハ帝國ノ過去ノ經驗及今日ノ事態ニ付テ各方面ニ互リ充分ニ御觀察セラレンコトヲ希望スルモノデアリマ

既ニ御一行ニ於テハ御着眼ノコトト存ジマスガ、帝國今日ノ基礎ハ凡ユル外來ノ長所特ニ物質文明ヲ
 吸收、消化シツツ、我ガ三千年ノ固有ノ精神ヲ宣揚シテ來タコトニ存スルノデアリマシテ、今ヤ「ア
 ジア」ノ一國トシテ東亞ニ復歸セラレ且ツ過去ニ於テ尊キ歴史ヲ有スル緬甸國ニ於テハ右ノ點ヲ充
 分ニ觀察サレンコトヲ希望致シマス。

今日緬甸國ハ帝國ト共ニ東亞死活ノ戰爭ニ從事セラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ戰爭中ニ於ケル國
 家ノ建設事業ハ容易ノ業デアリマセヌ。交通ノ不便、物資ノ缺乏等ノ困難ハ想像ニ余リガアリマ
 ス。若シ此ノ間ニ處シテ、徒ラニ理想ニ走り實際ヲ顧リミナイ時ハ其ノ困難ハ更ニ倍加スルコトトナ
 リマス。而シテ斯様ナ困難ハ實ハ我々ノミガ經驗シテ居ルノデアリマセン。他ノ國モ同様デアリマシ
 テ、敵ノ支配下ニ在ル地方例ヘバ、印度、西亞、南米等ニ於ケル困難ハ特ニ著シイモノガアル様子デ
 アリマス。然シ我々ハ他迄共助ノ精神ヲ以テ困難ヲ克服シナケレバナラヌノデアリマスガ、此ノ困難
 ハ主トシテ物質的方面ノコトデアリマシテ、建國ニ必要ナ精神方面ニ付テハ寧ロ戰時艱難ノ時ニ於
 テ收獲ガ大イノデアリマス。即建國ノ精神ハ戰時益々鍊磨サレ、陶冶サレテ茲ニ將來ニ亘ル確固タル
 基礎ヲ造リ得ルノデアリマシテ、精神方面ノ建國ガ何ヨリモ重要デアリマス。

新緬甸國ガ「バー・モ」國家代表ノ下ニ茲ニ御列席ノ「バー・ハン」博士、「デー・モン」大使其他ノ有力ナル
 指導者ニ依リ愈々建國ノ大事業ガ完成セラレンコトヲ祈ルモノデアリマス。

茲ニ杯ヲ舉ゲテ調査團御一行ニ對シテ歡迎ノ意ヲ表シタイト存ジマス。

一五、緬甸國獨立一周年記念祝宴ニ於ケル挨拶（一九・八・一）

緬甸國大使「デー・モン」閣下、來賓各位

本夕ハ緬甸國獨立一周年ヲ慶祝スルタメ斯クモ盛大ナル晚餐會ノ開催セラルルニ當リ御列席ノ御一同
 ニ代リ一言御禮ノ御挨拶ヲ申上グルコトハ私ノ最モ光榮トスル所デアリマス。

只今「デー・モン」大使閣下ノ御挨拶ニアリマシタ通り我盟邦緬甸國ガ過去六十年ニ亘ル英國ノ壓政ヲ
 排除シ敢然獨立ヲ全世界ニ宣言シ同時ニ共同ノ敵米英兩國ニ對シ宣戰ヲ布告致シマシテ以來今日ヲ以
 テ丁度滿一周年ヲ經過致シマシタ。

多年英國ノ惡政ニ呻吟セル緬甸國民ハ大東亞戰爭ノ勃發ト共ニ奮起シ皇軍ニ挺身協力シ遂ニ宿望ノ獨
 立及主權ヲ獲得シタル次第デアリマシテ此ノ事ハ敵米英ノ世界制覇ノ野望ヲ破摧シ「アジア」入ノ「ア
 ジア」ヲ樹立セムトスル我帝國ニトリテモ誠ニ喜シイ所デアッタノデアリマス。帝國ノミナラズ帝國
 ト志ヲ同ジクスル盟邦各國ハ此ノ道義ニ基ク新國家ノ誕生ヲ衷心慶祝シ直チニ承認ヲ行フト共ニ共同
 戰爭完遂ノ爲緊密ナル協力提携ヲ以テ進ンデ參ツタ次第デアリマス。

緬甸國ガ過去一ケ年間ニ於テ凄愴奇烈ナル現戦局下ニモ拘ラズ着々トシテ建設ノ巨歩ヲ進メ且ツ共同
 戰爭完遂ノ爲大東亞各國ト相協力シ一路邁進シテ參リマシタル此ノ輝シキ事實ハ千七百萬緬甸國民ノ
 熱烈ナル愛國心ト不屈不撓ノ闘志ヲ顯示スルモノデアリマシテ私共ノ深甚ナル敬意ヲ表スル所デアリ
 マス。今後同國ガ此ノ一年間ノ貴重ナル體驗ヲ基礎トシ高邁ナル「バー・モウ」國家代表閣下ノ指導下



ニ愈々益々堅實ナル發展ヲ遂ゲ、大東亞其榮園ノ強力ナル一環トシテ名實共ニ大成セムコトヲ私共ハ深ク期待シ且ツ確信スル者デアリマス。
今ヤ東亞及西歐ノ兩天地ニ於テ樞軸國相携エテ激烈ナル戰ニ從事シツツアル秋ニ當リマシテ緬甸國獨立ノ意義ヲ茲ニ更メテ確認シ正義ノ戰ニ於テ吾人ニ終局ノ勝利ノ必ズヤ歸屬スベキモノナルコトヲ愈々確信スルト共ニ盟邦各國其ノ同志ノ結合ヲ益々鞏固ニシ東亞復興事業ノ完成ヲ誓フ次第デアリマス。茲ニ盟邦緬甸國ノ將來ノ大發展ヲ祈念シ且「デー・モン」大使閣下ノ御健康ヲ祝シテ乾杯致シタイト存ジマス。

五六

一六、大東亞地域各國ニ對スル放送演説 (一九・八・二二)

帝國ノ大東亞地域ニ對スル政策ハ我が對支新政策ニ依ツテ明確ニ具現セラレテ居ルノデアツテ、對支新政策ハ即チ我東亞政策ノ根幹ヲナスモノデアリマス。
對支新政策ハ昨年一月ヨリ強力ニ進メラレテ來タノデアツテ今ヤ殆ド餘ス所ガナイ。不平等條約ハ平等互惠ノ日華同盟條約ヲ以テ置き替ヘラレ、支那ニ於テ和平ガ實現スル時日本軍ノ撤兵ハ直ニ行ハルベキコトガ約束セラレ、而シテ支那ニ於ケル我作戦目的ハ重慶政權ニ對スルモノデナク米英侵略勢力ノ排除ニアルコトガ明瞭ニセラレタ次第デアリマス。
對支新政策ニ伴ツテ我東亞政策モ亦着々推進セラレテ來タノデアリマス。然ラバ其ノ政策ハ基本的意

義ハ何處ニアルノデアルカ。夫レハ、多年ニ亘ル米英ノ束縛ヨリ解放セララルニ伴ヒ、東亞ガ東亞トシテ即東亞ヲ構成スル各分子ガ各自ノ真ノ姿ヲ見出サントスルニ至ツタコトニ存スルノデアリマス。
即チ大東亞政策ハ自己ノ姿ヲハツキリ見出サントスル政策デアリマス。
東亞ノ天地ガ歐米ノ束縛カラ解放セラレテ愈々茲ニ其ノ傳統的要望ヲ實現スベキ時期ガ到來シタノデアツテ、大東亞戰爭ハ實ニ大東亞ニトツテハ自覺ノ戰爭デアリマス。各民族國家ハ何レモ自覺シタ。支那ハ解放セラレ多年ノ國家的希望ヲ達成スルニ至ツタ。泰モ亦同様デアアル。緬甸モ「フイリピン」モ獨立シタ。何レモ各國志士ノ奮起ニ俟ツ次第デアリ、而シテ之ガ帝國ノ需ムル所デアツテ、我が東亞政策ハ茲ニソノ基礎ヲ置クモノデアアル。昭和十八年十一月東京ニ大東亞會議ガ開カレ帝國ノ外滿洲國、支那、泰、緬甸、「フイリピン」ノ參加ヲ見且ツ自由印度モ參加シタ。此會合ニ於テ各國ノ政府首班ニ依ツテ採用セラレタノガ大東亞宣言デアリマス。
大東亞宣言ノ具現シテ居ル五原則ナルモノハ、要スルニ大東亞各民族國家ノ自主獨立ヲ尊重スルト共ニ、之等民族國家ノ協力親和ヲ旨トスルモノデアアル。解放セラレタル東亞ガ、若ハ解放セララルベキ亞細亞ガ其ノ傳統ヲ恢復シ創造性ヲ伸揚シ自主獨立ノ立場ヲ進メテ茲ニ東亞復興ノ基礎ガ形成セララルノデアリマス。而シテ之等諸民族國家ガ互ニ協力シテ現在ニ於テ、又將來ニ向ツテ、東亞ノ安定ヲ確保シ、各自ノ立場ヲ擁護シ、而シテ共存共榮ノ天地ヲ開拓シテ茲ニ親和ノ關係ヲ確立スルノガ東亞建設ノ根幹デアリマス。即チ第一ガ解放ニヨル自主獨立デアリ、第二ガ平等互惠ニヨル協力親和デア。之ガ實現コソ天與ノ使命デアツテ、今日吾人ニ課セラレタル任務ハ之ガ完成ニアリマス。
茲ニ於テ、大東亞戰爭ガ東亞人ニ與ヘタ大ナル教訓ガ二ツアルト云ヒ得ル。其ノ一ツハ自己ノ力ニ對

五七

スル信賴デアリ、他ハ大和ノ精神ノ發揮デアアル。*英人ハ永ク他民族ニ對シテ聞ヘノ好イ約束又ハ甘言ヲ以テ他民族ヲ去勢シテ來タノデアアル。彼等ハ獨立ノ約束ヲ好餌トシテ獨立精神ヲ蹂躪シタ。物質文明ヲ武器トシテ精神文化ヲ麻痺セシメタ。然シ、亞細亞ハ今日如何ナル他人ノ甘言モ亦約束モ之ヲ信ジ之ヲ當テニスルモノデアアリマセヌ。自分自身ノ要望ハ自分自身ニ依ツテ之ヲ實現シ天ノ命ニ於テ自ラ助ケルノ外ニ實現スル方圖ノナイコトヲ悟ツタノデアアツテ、東亞ハ東亞人ニ依ツテノミ初メテ復興スルノデアリマス。

他ノ教訓ハ所謂大和ノ精神デアアル。大和ノ精神ハ獨リ大東亞ノ地域ニ於テノミニアラズ、實ニ國際關係ノ基調タルベキモノデアアツテ、依ツテ以テ廣ク全世界ニ及ボスベキモノデアアル。世界ノ各民族國家何レモ平等互惠ノ原則ノ下ニ、資源ヲ開發シ、文化ヲ交流シ、以テ世界ノ進軍ニ貢獻シテ世界平和ノ基礎ハ初メテ茲ニ完キヲ得ルノデアアル。大東亞宣言ハ此ノ點ヲ明瞭ニ指示シテ居ツテ、眞ニ世界平和建設ノ憲章タルモノデアリマス。

敵ハ亞細亞ヲ永久ニ束縛シ、東亞ヲ無限ニ搾取セントスルモノデアアツテ、亞細亞ノ自覺ノ急先鋒デアツタ日本ヲ抹殺シ以テ彼等ノ野望ヲ實現セント欲スルノデアアル。彼等ノ昨日ノ手段ハ日本ヲ經濟的ニ絞殺セントシタモノデ、彼等ノ今日ノ手段ハ武力的ニ日本全東亞ヲ破壊セントスルモノデアアル。帝國ハ帝國及東亞ノ自存自衛ノ爲メニ立ツタ。此ノ戰爭ハ實ニ東亞ニ取ツテハ已ムニ止マレヌ戰デアアル。最近米英兩國ニ於テモ此ノ點ハ識者ノ承認セザルヲ得ナイ所トナツテ、世界ノ話題ニ上ツテ居ルコトハ周知ノコトデアアル。然ルニモ拘ラズ、彼等ハ他迄世界ヲ支配スル爲メニ暴力ヲ以テ其ノ野心ヲ逞ツシ、大東亞宣言ニ代フルニ「カイロ」決議ヲ以テセント企圖スルノデアアル。彼等ハ今日世界ノ將來

ヲ恣ニ處理シテ之ヲ獨占支配セントシテ居ルガ、其ノ支配セントスルモノノ心ハ何レモ區々デアアツテ、不思議ナコトニハ彼等ハ今日世界戰爭ヲ遂行シツツ既ニ次ノ世界戰爭ヲ用意シツツアル有様デアリマス。

此ノ一戰ハ正ガ勝ツカ邪ガ勝ツカガ問題ヲ決スルモノデアアル。其ノ過程ニ一進一退ノアルノハ當然デアリマスガ、敵ハ進ムニ從ツテ一步ハ一步ト共ニ危地ニ踏ミ込ミツツアツテ茲ニ我が乗ズル機會ガアル。正義ノ戰ガ必ズ勝利ヲ以テ終局スルノハ古今ノ鐵則デアアル。今回内閣ノ更迭ヲ見マシタガ、帝國ハ從來ノ外交政策ヲ飽迄堅持シ、盟邦トノ緊密ナル協力ノ下ニ更ニ一層強力ナル舉國一致ノ態勢ヲ以テ此ノ正義ノ戰ヲ勇敢ニ戰ヒ抜キツツ、正義ノ政策タル大東亞政策ヲ力強ク遂行スル決意デアアツテ、大和ノ精神ニ基ク善隣政策ヲ推進シ、東亞ノ安定ヲ永遠ニ確保シ、以テ世界平和ニ貢獻スルコトガ吾人ノ不動ノ目的デアリマス。

一七、第八五帝國議會衆議院豫算總會ニ於ケル演說（一九・九・九）

一、戰爭目的ニ關スル質問ニ答ヘテ

戰爭目的ト云フコトハ實ニ重要ナ問題デアリマシテ、私ハ所謂戰爭目的ヲ論ズルコトハ、政策面カラ見マシタ戰爭ノ魂ヲ論ズルコトダト思フノデアリマス。戰爭ハ何ノ爲ニ戰ハレテ居ルカ、ドウ云フ目的ヲ以テナサレテ居ルカ、是ハ内ハ國民ノ心ヲ結集スル精神ノモノデアリマスシ、又大東亞地域ニ



於テハ大東亞十億ノ民衆ヲ結集シ、世界ニ向ツテハ日本ノ立場ヲ闡明シテ最モ大キナ武器トナルベキ
モノダラウト考ヘルノデアリマス。

此ノ機會ニ少シク戰爭目的ニ付テ、私ノ考ヘラ率直ニ且ツ或ル意味ニ於テ詳細ニ述ベサシテ戴キタイ
ト思ヒマス。帝國ガ自存自衛ノ戰爭ニ從事シテ居ル、而シテ又大東亞自身ガ今日自存自衛ノ死活ノ戰
争ニ從事シテ居ル。帝國ガ今日自存自衛ノ戰爭ヲ致シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、日本人トシ
テ誰モ之ニ疑問ヲ挾ム者ガナイノミナラズ、敵國ニ至ルマデ之ヲ承認スル者ガ起ツテ來タノデアリマ
ス。現ニ「イギリス」ノ内閣ノ最モ有力ナル閣員ガ、而モ公ノ席上デ、眞珠灣ノ攻撃ハ米國ガ日本ヲ戰
争ニ挑發シタ結果デアルト云フヤウナ意味ヲ述ベテ居ルノデアリマス。眞珠灣ニ至ルマデニ日本ハ經
濟的ニハ「アメリカ」カラ既ニ戰爭ヲ吹キ掛ケラレテ居ツタコトハ、御承知ノ通りデアツテ、「アメリ
カ」ハハツキリト經濟戰爭云々ヲ口ニシテ居ルノデアリマス。

一體戰爭ヲ政策ノ道具ニ使ハナイト云フコトハ、現ニ「ゲログ・バクト」ニ規定サレテ居ルコトデアリ
マスガ、米國ハ、眞珠灣前ニ日本ヲ締メ殺サウトシテ、既ニ經濟戰爭ニ著手ヲシテ居ツタノデアリマ
ス。是ガ戰爭ノ原因デアリマス。經濟戰爭ヲ否認シナイ戰後ノ國際機構ハ、平和ヲ維持スル所以デア
ナイト思ヒマス。米國ガ他ノ與國ヲ率キテ、今日戰後ノ國際機構ヲ「アメリカ」ニ於テ議論ヲ致シテ居
リマス。其ノ内容ハドウ云フモノデアルカ、之ヲ極ク簡潔ニ述ベルナラバ、世界ノ要所々々ヲ、軍事
的ノ意味ニ於テモ、又資源的ノ意味ニ於テモ彼等ノ間ニ分割占領ラヌルト云フコトガ第一デアリマ
ス。特ニ米國ハ今日太平洋ノ領域ハ自分ニ必要ナ所ハ、何處モ軍事上ノ基地ナリ、經濟上ノ基地ナリ
トシテ占領スルト云フコトヲ、殆ンド公然ト述ベテ居ルコトハ、周知ノ通りデアリマス。此ノ占領シ

六〇

分割シテ居ル所ヲ、彼等ハ飽ク迄モ將來ノ爲ニ維持スルト云フコトガ第二點デアリ、而シテ之ヲ變更
セントスル企テガ何處カニアリトスルナラバ、之ヲ以テ平和ヲ破ルモノデアルトシテ之ヲ懲ラス、即
チ之ニ對シテ警察ヲアラウト云フノガ第三ノ點デアツテ彼等ノ戰後世界ノ國際機構ノ考ヘ方ハ斯様ナ
モノデアリマス。即チ、彼等ハ戰爭ノ原因トナリ、又正義公平ノ觀念ノ基礎トナルヤウナ、經濟的ノ
公平ヲ取扱ヒト云フヤウナコトハ毫モ考ヘテ居ラヌノデアリマス。彼等ノ目的トシテ居ル所ハ獨占デ
アリ、又制覇デアアルノデアリマス。ソレヲ戰後ニ長ク維持シテ行カウト云フノガ彼等ノ戰後經營デア
ル。之ニ對シテ日本ハ、自存自衛ノ戰爭ニ從事シテ居ルト云フコトハ今申述ベタ通りデアリマスガ、
更ニ我戰爭目的ニ付テ、即チ今次戰爭ノ意義ニ付テハ私ハハツキリシタ日本ノ意思ヲ、此ノ席ヲ拜借
シテ世界ニ向ツテ聲明ヲ致シタイト思フノデアリマス。

今次ノ戰爭ハ、帝國ノ正當ナル國際的地位ヲ否認セントスル米英ノ非望ニ依ツテ強請セラレタ自存自
衛ノ戰爭デアツテ、是レ即チ帝國ガ國運ヲ賭シテ死活ノ闘争ニ從事シテ居ル所以デアアル。國際正義ヲ
世界ニ布キ、恒久平和ヲ確立シ得ルヤ否ヤハ、又懸ツテ本戰爭ノ歸趨ニ存スルノデアリマス。帝國ノ
所期スル所ハ、世界ニ對スル獨占制覇ノ野望ヲ粉碎シテ、一切ノ偏見ヲ除去シ、何人ヲモ排斥セズ、
何人トモ協力シ、以テ各民族ノ各々其ノ所ヲ得ル世界ノ親和ヲ實現セントスルノデアリマス。多年來
英勢力ニ依ツテ侵略搾取セラレタ「アジア」ハ、今ヤ解放ノ曙光ヲ仰グヤウニナリ、東亞ノ安定ハ保衛
セラレ、復興ノ事業モ亦其ノ緒ニ就クニ至ツタノデアリマス。其ノ立ツテ居ル基礎ハ昨年十一月六日
ノ大東亞宣言デアアルノデアリマシテ、帝國ノ大東亞建設ノ目的ハ之ニ盡シテ剩ス所ガナイノデアリマ
ス。併シ更ニ我ガ戰爭目的トシテソレヲ基礎トシテ、左ノ五點ヲ世界ニ聲明シテ帝國ノ嚮フ所ヲ明ニ

六一

シ度イト思フノデアリマス。

其ノ第一點ハ恒久平和ノ一般的ノコトデアリマシテ、國際間ニ於テハ政治的ニハ平等ニ、經濟的ニハ互惠ヲ主旨トシテ善隣友好ノ關係ヲ發展セシメ、以テ各民族國家相互親和ノ天地ヲ拓イテ、恒久平和ヲ確立セントスルコトヲ期スルノガ當然デアラウト考ヘマス。隨ヒマシテ次ニ第二點トシテ、民族主義ノ政策ヲ尊重致シマシテ、各民族國家ヲシテ各々其ノ所ヲ得セシメルト云フ政策ヲ生ムコトハ當然デアリマス。而シテ第三點トシテハ、内政不干渉ノ點デアリマシテ、國ノ大小ヲ問ハズ、相互ニ主權及ビ獨立ヲ尊重スベク、統治ノ形式ト其ノ指導理念ハ各國ノ内政問題タルニ鑑ミマシテ、各國各々其ノ信ズル所ヲ行フコトヲナスベキガ當然デアリマシテ、他國ハ之ニ干渉スベキモノデハナイト云フ主義デアリマス。第四點ハ經濟方面デアツテ、經濟自由ノ原則デアリマス。經濟ノ分野ニ於キマシテハ協力ト開放トヲ趣旨トシナケレバナラス、之ヲ以テ世界親和ノ基礎トシテ、之ニ貢獻センコトヲ期スベキモノデアツテ、互惠ノ原則ニ依リ通商交通ノ自由並ニ資源ノ相互開放ヲ實現スルコトガ、當然デアラウト思ヒマス。最後ニ第五點ト致シマシテ、文化交流ノ點デアリマス。相互ニ固有ノ文化ヲ理解スルハ、世界ノ平和ト進運トニ貢獻スル所以ナルコトニ願ミマシテ、文化ノ國際交流ニ關シテ、是ガ促進ノ爲ニ協力ラスルト云フコトハ、國際的ノ感情ヲ疎通スルコトニ有益デアラウト考ヘマス。斯様ナコトハ今日迄帝國ノ戰爭目的トシ、又對外政策ノ基礎トシテ、繰返シ繰返シ述ベラレ、且ツ又行ハレテ居ツタ所デアリマス。大東亞宣言ノ趣旨モ斯様ニ煎ジ詰メレバ煎ジ詰メラレル。斯ル戰爭目的ハ我が帝國ノ精神ニ合致スルモノデアリマシテ、此ノ正義ノ政策ニ信念ヲ持チ、此ノ正義ノ戰爭目的ヲ飽ク迄遂行スル所ニ於テ、茲ニ必勝ノ信念ガ彌ガ上ニモ盛リ上ル譯ダト信ジマス。

此ノコトニ付キマシテ、私ハ更ニ稍々進ミマシテ、一言支那問題ニ入りタイト思ヒマス。ソレハ非常ニ重要ナ問題ダト思ヒマス。米國ハ支那ヲ救済スル爲ニ戰ツテ居ルト云フコトヲ、頻リニ言フノデアリマスガ、米國ノ戰爭目的破産ノ今日ノ状態ニ於キマシテ、果シテ米國ガ支那ノ救済主トナリ得ル資格ガアリマセウカ、又ナリ得ルデアリマセウカ。米國ハ今日支那ニ軍事基地ヲ、戰時ハ無論戰後ニ互ツテモ持タナケレバナラスト言ツテ居ルノデアリマス。「フィリピン」ニ於ケル海軍、空軍ノ軍事基地ハ無論ノコト、彼等ノ或ル者ハ臺灣、琉球ニ付テモ左様ナ方面ノコトヲ議題ニ供シテ居ルノデアリマス。斯様ナ狀況デアリマスノデ、米國ハ今日世界制覇ノ爲ノ植民地戰爭ニ從事シテ居ルト言ツテ差支ヘナイノデアリマス。帝國及ビ東亞ニ取ツテハ、自分ノ家郷ヲ護ル自存自衛ノ戰爭デアルト云フコトハ、前議會ニ於テモ申上ゲタコトガアルト思ヒマス。帝國ハ今皇土ヲ護ラントシテ居ル。大東亞地域ノ十億ハ自分ノ家郷ヲ護ラントシテ居ル。即チ郷土ノ戰爭デアリ自存自衛ノ戰爭デアルトガ、ハツキリ分ルノデアリマス。「アメリカ」ハ懸萬里世界ノ制覇ヲ目的トシテ、軍事上、經濟上ノ基地ヲ世界各地ニ置クト云フ政策ヲ執ツテ居ル、即チ植民地帝國主義的戰爭ニ從事シテ居ルト云フコトガ、ハツキリ分ルノデアリマス。之ニ由ツテ之ヲ觀レバ支那ニ對スル米國ノ政策モ亦明瞭トナルノデアリマス。彼ガ重慶ヲ援助スルト云フノハ、正シク此ノ政策實行ノ爲ニ重慶ヲ利用シテ居ルノデアアル。ソレガ日本ニ對スル戰爭遂行ノ爲デアルコトハ、今日當然デアリマスガ、ソレダケニ止マルノデナクシテ、重慶ヲ利用シテ、彼ガ東亞ニ於ケル戰後ノ地盤ヲ、今日ヨリ築カウトシテ居ルニアルコトハ言フヲ俟タヌノデアリマス。若シ重慶ガ巧ク行カナケレバ延安ニ行ツテ、延安政權ヲ利用シヨウトシテ居ルノデアリマス。最近ニ戰時經濟局長「ネルソン」、前陸軍長官「ハーレー」ト云フ二人ヲ支那ニ派遣致



シテ居リ、經濟的ニハ「ホルン」ヲ使ヒ、政治的ニハ「ハーレー」ヲ使ツテ、將來永遠ノ策ヲ講ゼントシテ居ル模様デアリマス。

斯様ナ事態ニ於キマシテ、之ヲ我ガ對支政策ニ比較シテ見ルコトガ必要デアルト思フデアリマス。對支新政策以來發展シタ日本ノ大東亞政策ハ、御承知ノ通りニ、大東亞宣言デ明カニナツテ居リマス。更ニ又日支同盟條約ノ締結ニ依ツテハツキリシテ居リマス。帝國ハ大東亞諸國、諸民族トハ協力親和ノ意思コソアレ、何等領土の野心ハナイデアリマス。支那ニ於テハ支那ガ和平スレバ、日本軍ハ全部撤兵ヲスルト云フコトマデ約束シテ居ルデアリマス。又日本ノ作戰目的ハ、今日重慶ヲ目的トシテ居ルノデハナイ、英米ノ侵略勢力ガナクナレバソレ宜イデアツテ、後ハ支那ハ支那人デヤルベキモノデアルト云フコトヲ明瞭ニシテ居ルデアリマス。帝國ハ今次ノ戰爭ニ依ツテ帝國自身ノ自存自衛ヲ全ウスルト云フノミナラズ、「アジア」民族、又東洋民族ガ永遠ニ解放セラレ、又復興セラレルコトヲ庶幾シテ居ルデアツテ、且又ソレデナク日本自身ノ自存自衛モ達シ得ラレナイデアリマス。

今日支那ノ狀況ハ今申述べタ通りノ狀況デアリマス。米國ノ政策ガ軍事ト共ニ萬ガ一デモ成功スレバ、支那ハドウナリマスカ。日本ノ對支政策ハ極メテ明瞭デアアルデアリマス。今日支那ハ支那人ニ依ツテ、民族的ニ解決セラレベキ時期デハナイカト考ヘルデアリマスカラ、支那人ノ奮闘ヲ大イニ促サナケレバナラスデアリマス。今日ノ支那程支那人ニ取ツテ重要ナ時期ハナイヤウニ考ヘマス。支那トシテハ大イニ將來ニ付テ奮發スル所ガナクレバナラス、斯ウ思フデアリマス。

二、米國ノ戦力ニ關スル質問ニ答ヘテ

次ニ米國ニ付テ、戰爭ハ三年ニ垂ントシテ居ル今日、米國ニ於テ國內的ニ色々ナ戰爭ニ對スル疑惑ガ生ジテ來テ居ルコトハ明デ、ソレハ二ツノ方面カラ來テ居ルヤウニ私ハ見テ居リマス。第一點ハ物質的ノ方面デアリマス。第二點ハ精神的ノ方面デアリマス。物質的ノ方面ハ極メテ理解セラレ易イコトデアリマス。米國ノ如キ生活程度ノ高イ國民ガ、此ノ戰爭ノ壓迫ニ依ツテ色々ナ不自由ヲスル場合ニ、故障ガ起ツテ來ルト云フコトハ當然ナコトニ考ヘマス。其ノ點ハ各方面ニ現ハレテ居ルデアリマス。生産産業方面等ニモ著シク現ハレテ居リマス。而シテ最近ニ於キマシテ軍需生産ガ平時生産ニ移ルト云フ方面ノ施策ガ、着々進メラレテ居リマスルノモ、サウ云フコトニ歸着スルノデハナイカト思フデアリマス。第二ノ點ハ精神の方面デアリマス。是ハ、「アメリカ」人ガ戰爭ノ意義ニ對シテ疑惑ヲ持ツテ來タ、斯ウ云フ點デアリマス。此ノ點ノ我ガ方ニ關スル主タル點ハ先程觸レマシタ通りデアリマス。左様ナ兩方面カラ「アメリカ」ニ於テ戰爭ニ對スル疑惑ガ相當生ジテ居ルコトハ事實ノヤウデアリマス。隨テ今日之ヲ結論的ニ申上ダレバ、帝國トシテハ、此ノ正シイ精神方面、即チ戰爭目的、帝國ノ信念、之ヲ他クマデモ堅持シテ、而シテ物質的方面ニ於テハ、足ラザラ忍ンデ他クマデ頑張ツテ行ケバ、其ノ結果ハ當然算盤ノ結論ガ出ル譯デアリマス。即チ戰爭目的ノ完遂ノ大目的ヲ達スルコトガ出來ルデアリマス。

三、日「ソ」關係ニ關スル質問ニ答ヘテ

日「ソ」兩國ハ地理的自然ノ狀況ニ依リマシテ、隣邦デアリ接壤國デアアルデアリマス。過去ノ風波ニモ拘ラズ、兩國ハ中立關係ニ今日マデアアルデアリマス。此ノ中立關係ハ御承知ノ通りニ中立條約ニ基礎ヲ置クモノデアリマス。併シ單ニ條約ノミナラズ、兩國ノ大局及ビ現實ノ利害關係ノ命ズル所デ



アルノデアリマス。帝國政府ト致シマシテハ、過般ノ議會ニ於テモ聲明ヲ致シマシタ通リニ、中立各國トハ善隣友好ノ關係ヲ維持シタク、其ノ政策ヲ進メテ居ルノデアリマス。特ニ接壤國ニ對シテハ意ヲ用ヒナケレバナラヌノデアリマス。接壤國タリ而モ中立國タル關係ニ於キマシテ、日ソノ關係ハ互ニ信頼ガアレバ、必ズ帝國政府ノ執ツテ居ル政策ガ都合ク進ムコトト自分ハ信ジテ疑ハナイノデアリマス。其ノ信念ノ下ニ外交上ノ努力ヲ進メテ居ル譯デアリマス。

六六

一八、日獨伊三國同盟條約四周年記念祝宴ニ於ケル挨拶及日獨交換放送演説（一九・九・二七）

一、祝宴ニ於ケル挨拶
閣下並ニ各位

本日三國同盟條約締結記念日ニ當リ慶祝ノ意ヲ表サントシテ御招待申上ゲタル處獨逸國大使閣下ヲ始メトシ滿洲國、中華民國、緬甸國、泰國、比律賓國ノ各大使閣下、洪牙利國公使閣下及伊太利國代理大使貴下並ニ來賓各位ノ御出席ヲ得マシタコトハ私ノ最モ光榮トスル所デアリマス。彼等ハ武力ノミ敵米英ハ今ヤ戰爭ノ終結ヲ焦リ全力ヲ擧ゲテ東西ノ戰場ニ於テ反攻ニ出デ居リマス。彼等ハ武力ノミヲ以テハ勝利ヲ獲ルコトノ不可能ナルコトヲ知ルガ故ニ其ノ常套的手段デアアル謀略ヲ極度ニ利用シテ居リ最近歐洲ニ於テ一、二ノ國ガ其ノ犠牲トナツタコトハ甚ダ遺憾ナコトデアリマス。而シテ茲ニ最

モ注目スベキハ戰局ノ決戰段階ニ入ルニ伴ヒ敵ノ世界支配ノ野望ガ益々明瞭トナツテ來タコトデアリマシテ彼等ハ其ノ征服シタル國家ハ彼等ノ野望實現ノ爲メニ其ノ國家的存在ヲ抹殺スルニ何等ノ躊躇ヲシナイノデアリマス。彼等ハ今日公然征服シ支配シ而シテ警察スルコトヲ戰爭目的トシテ居ルノデアリマス。理想ヲ失ヒ敵ニ降伏シタモノノ運命ガ如何ニ悲惨ナモノデアアルカハ最近ノ形勢ニ見テ益々明トナルニ至リマシタ。

吾人ハ今日、同盟條約ノ崇高ナル理想實現ノ爲メニ死活ノ戰爭ニ從事シテ居ルノデアリマス。亞細亞ヲ解放シ東亞ヲ復興保衛スルコトハ世界ノ平和ヲ建設スルコトデアリ、人類ノ幸福ヲ現スルコトデアリマス。「フイリツピン」國ガ外敵ノ侵略ニ會ツテ毅然立ツテ戰爭ニ參加スルニ至リマシタコトハ、聖戰ノ意義ヲシテ一層明瞭ナラシムルモノデアリマス。

吾人ノ目的トスル所ハ世界ニ於ケル各民族、各國家ガ各々其ノ所ヲ得ル國際正義ヲ實現セントスルニアルノデアツテ、從ツテ、何人ヲモ排斥セズ又何人ニモ協力シ以テ親和ト協力ニ基ク世界平和ヲ樹立セントスルモノデアリマス。

戰局ハ文字通決戰の様相ヲ呈シテ來テ居ルノデアリマシテ同盟諸國ガ大試練ニ直面シテ居ルコトハ否定出來ナイノデアリマス。此ノ試練ニ遇ツテ我々ノ陣營ニ於ケル必勝ノ信念ガ益々固キモノアルノハ大キナ喜デアリマス。殊ニ獨伊及其ノ與國國民ノ勇戰奮闘ハ吾人ノ衷心敬服ニ堪エヌ所デアリマス。尙新與比律賓ガ今回米英ニ對シ敢然宣戰ヲ布告シマシタコトハ我々ノ陣營ニ新ナル力ヲ加ヘタモノデアリ。茲ニ盟邦ノ代表各位ト共ニ衷心欣快ノ意ヲ表シ度イト存ジマス。本日ノ記念スベキ日ニ當正義ノ爲ノ戰ガ絕對ニ敗レルコトガ無イトハ我々ノ不動ノ信念デアリマス。

六七

六八
リ我々ハ前線勇士ノ血盟ヲ本トシ益々相互間ノ結果ヲ固クシ如何ナル障害ヲモ排除シテ最後ノ勝利ニ邁進セントノ決意ヲ新ニスルコトハ極メテ意義アルコトト信ズルノデアリマス。
茲ニ杯ヲ舉ゲテ同盟諸國ノ隆昌ト閣下並ニ各位ノ御健康ヲ祝シ度イト存ジマス。

二、日獨交換放送演説

本日三國條約締結四週年記念日ニ當リ「ラデオ」ヲ通シ盟邦獨伊兩國ノ外務大臣閣下ト挨拶スルコトヲ得マスルノハ私ノ最モ光榮トスル所デアリマス。
今日世界ノ戦局ハ愈決戦ノ段階ニ入りマシタガ、戦争ノ終結ヲ焦ル敵米英ノ必死ノ攻勢ニ對シ獨伊兩國民ガ益戰意ヲ昂揚シ一致團結必勝ノ信念ノ下ニ全力ヲ舉ゲテ戦ツテ居ルコトハ日本全國民ノ敬服且感激措ク能ハザル所デアリマス。帝國モ亦戦局ノ青烈化ニ伴ヒ愈決意ヲ固クシ最後ノ勝利ニ向ツテ一路邁進シテ居ルノデアリマシテ、終局ノ戦勝ニ對シ疑ヲ抱クガ如キ者ハ日本國民中一人モナイコトヲ茲ニ申シ述ブル次第デアリマス。
戦争ガ決戦段階ニ入ルニ從ヒ米英ノ世界制覇ノ野望ガ愈明瞭トナツテ來タコトハ極メテ注目スベキコトデアリマス。彼等ノ主張スル所ハ正ニ世界ヲ征服シ、之ヲ支配シ、而シテ、自ら警察セントスルモノデアツテ、其ノ企圖スル所ハ彼等ノ世界ノ支配權ヲ確立シ又彼等ノ手ニ依テ世界ノ富源ヲ壟斷セントスルニ在ルコトハ最早疑ヲ容レマセン。其ノ前提トシテ彼等ハ樞軸諸國ノ存在ヲ抹殺セントシテ居ルノデアリマス。
吾人ハ今日同盟條約ノ崇高ナル理想實現ノ爲メニ死活ノ戦争ニ從事シテ居ルノデアリマス。吾人ノ目

的トスル所ハ世界ニ於ケル各民族各國家ガ其ノ所ヲ得ルノ國際正義ヲ實現セントスルニ在ルノデアツテ、世界恒久ノ平和ハ此ノ基礎ノ上ニ於テノミ可能ナノデアリマス。吾人ニ強制セラレタル戦争ニ於テ人類ノ拂ヒ又拂ヒツツアル莫大ナル犠牲ヲシテ意義アラシメル途ハ同盟條約ノ崇高ナル理想ヲ實現スル以外ニアリ得ナイノデアツテ之ハ我々ノ不動ノ信念デアリマス。
現在敵ノ反攻ハ極メテ熾烈デアリ又敵ノ常套手段デアアル政治的謀略モ今後益盛ニ行ハレテ來ルト思ハレマス。之ニ對シ日獨伊三國ハ歐亞ノ他ノ盟邦ト共ニ益其ノ結束ヲ固クシ此ノ戦争ノ意義ヲ自覺シ今後如何ナル難局ニ處シテモ最後ノ勝利ニ到達スル迄戦ヒ抜ク固キ決心ヲ有スルモノデアリマス。
終ニ臨ミ獨伊兩國民ノ勇戰奮闘ニ對シ衷心ヨリノ敬意ヲ表シ獨伊兩國元首及外務大臣閣下ノ御健康ヲ祈リマス。

